

2010（平成22）年度

# 沖縄県平和祈念資料館年報 第11号



沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

2010（平成22）年度

# 沖縄県平和祈念資料館年報 第11号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

## 沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：平成22年度第20回児童・生徒の平和メッセージ展

図画部門・中学校の部 最優秀賞「未来への砂時計」

与那原町立与那原中学校3年 島袋香子

# 目 次

## 沖縄県平和祈念資料館設立理念

### はじめに

#### I 概 要

- 1 沿革 . . . . . 1
- 2 日誌(抄) . . . . . 3
- 3 施設 . . . . . 5
- 4 組織 . . . . . 8
- 5 決算 . . . . . 14
- 6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会 . . . . . 15

#### II 調査研究事業

- 1 企画展のための研究調査 . . . . . 17
- 2 類似館視察調査 . . . . . 17
- 3 第17回日本平和博物館会議 . . . . . 18
- 4 証言映像の収録・編集 . . . . . 18
- 5 県外博物館ショッップ調査 . . . . . 19

#### III 展示企画事業

- 1 常設展 . . . . . 20
- 2 企画展
  - (1) 特別企画展 . . . . . 21
  - (2) 平成22年度新収蔵品展 . . . . . 22
  - (3) 子ども・プロセス企画展 . . . . . 22

#### IV 資料収集・活用事業

- 1 新収蔵品目録 . . . . . 25
- 2 資料貸出
  - (1) 写真パネル・実物その他 . . . . . 29
  - (2) 証言映像の貸出 . . . . . 30
- 3 撮影・掲載等利用一覧 . . . . . 31

#### V 教育普及事業

- 1 教育普及行事
  - (1) 児童・生徒の平和メッセージ展 . . . . . 34
  - (2) 親子ビデオ上映会 . . . . . 35
  - (3) 夏休み子ども向け企画 . . . . . 35
- 2 教育機関との連携
  - (1) 平和講話 . . . . . 36
  - (2) 博物館学芸員実習 . . . . . 36
- 3 講座・講習会・研修会
  - (1) 沖縄戦講座 . . . . . 37
  - (2) 沖縄県平和祈念資料館講習会 . . . . . 37
  - (3) 県立学校教諭の初任者研修 . . . . . 38
  - (4) 教職10年経験者企業研修 . . . . . 38
  - (5) 島尻地区教職員10年経験者研修会 . . . . . 38
  - (6) 沖縄県新規職員採用後後期研修者への講義 . . . . . 38
  - (7) 島尻地区小・中学校校長会研修会(視察研修) . . . . . 38

#### VI 広報活動・出版等

- 1 県外修学旅行誘致活動 . . . . . 39
- 2 2010 JICA フェスティバル . . . . . 39
- 3 刊行物 . . . . . 40

#### VII 開館10周年記念関連事業・企画

- 1 JICA 連携事業「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」 . . . . . 41
- 2 平和音楽祭2010 . . . . . 42
- 3 「『NAHA マラソンへの道』～走る道 逃げる道～」展 . . . . . 43
- 4 台湾国立台東美学館交流事業 . . . . . 43

5	収蔵品整理事業	43
6	平和文化の推進事業（貸出キット作成等）	44
7	平和教育の公開授業・フォーラム	44
8	ピース・メモリアルグッズ(PMG)開発事業	45
9	詩集「写真の中の少年」編集・発行	46
VIII	入館者状況	
1	月別入館者数	47
2	年度別入館者数 慰霊の日無料入館者数	48
3	月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況	49
4	市町村別団体入館者数	50
5	都道府県別団体入館者数	51
IX	八重山平和祈念館	
1	概要	52
2	施設	54
3	事業概要	55
4	月別入館者数	59
X	沖縄県平和祈念資料館友の会活動報告	
1	活動内容	60
2	申込方法	60
3	申込条件	60
4	平成22年度講話・ガイド活動実績件数	60
5	平成22年度活動内容	61
XI	関係条例・規則・要綱	
1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	62
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	67
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	73
XII	資料	
1	各種申請書・要項	74～84
2	沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況	85

## はじめに

沖縄県平和祈念資料館は、沖縄戦の教訓を後世に伝え、平和を大切にする「沖縄のこころ」を発信し、世界の恒久平和の実現に寄与するために様々な取り組みを行っています。

平成22年度は開館10周年の節目を迎え、多くの県民理解と参加を求めて10周年関連事業を実施しました。

まず展示活動では、常設展示のほか期間、テーマを定めて企画展示を実施しました。

常設展示は、沖縄戦の実相と戦後における住民の戦災復興、平和を希求する人々の足跡などを展示し、その内容を若い世代により深く理解してもらうために、県内小中学校及び高等学校等の児童・生徒を対象に平和講話を提供しており、平成22年度は121回実施しました。企画展示では、開館10周年記念特別企画展として『沖縄のこころ』を世界へ—過去を伝え 現在をみつめ 未来をひらく—を開催し、旧資料館からの活動を紹介するとともに、学校教材として活用できる「収蔵資料100選」を紹介し、学芸員手作りによる展示資料を紹介しました。子どもを対象とした子ども・プロセス企画展示では、子どもの目線で沖縄戦、貧困、人権、紛争、国際理解をわかりやすく紐解く展示を心がけました。

教育普及活動では、学校連携事業として位置づけている「児童・生徒の平和メッセージ展」が20回を数え、県内小中高等学校等の年中行事として定着しつつあります。平成22年度は、「図画」「作文」「詩」の3部門で過去最多の総数4,621点の作品応募がありました。「詩」部門の高等学校の部最優秀作品「変えてゆく」は、「沖縄全戦没者追悼式」において朗読され、心を打つ平和へのメッセージが県内外へ発信されました。

開館10周年記念企画として新たな取り組みもありました。

JICA草の根技術協力事業「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」（平成21～23年度の3カ年計画）で、カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館のスタッフを3名招聘し、1ヶ月間の当館の平和博物館活動ノウハウやスキルを学ぶ研修と当館職員による2週間の現地研修を実施しました。

展示活動では那覇マラソンの時期に合わせて、『NAHAマラソンへの道』～走る道 逃げる道～展を開催し、戦後65年の平和創造のあゆみを感じてもらう展示会を開催しました。また、人権問題をテーマにした台湾国立台東美術館の交流事業展として、台湾と沖縄の子どもたちの平和を希求する図画展を開催しました。また、「平和音楽祭2010」は、10月10日から12月18日の毎土日曜日に20の公演日を設定し、県民参加をコンセプトに県内老若男女の個人・団体32の個人・団体延べ689名が参加し、世代を超えて平和への願いを込めた舞台を繰り広げました。

また、平和学習の拠点形成のために、初めて平和教育公開授業・パネルディスカッションを実施し、中南部の教師たちが多く参加し、新しい平和教育や資料館の活用方法について意見を交換しました。

さらに国の緊急雇用創出事業を活用した「収蔵品整理事業」や資料館のオリジナルグッズ開発を手がける「ピース・メモリアルグッズ開発事業」を平成23年度までの2カ年計画でスタートさせました。

分館の八重山平和祈念館では、特に沖縄戦における「戦争マラリア」の実相を伝え、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成をめざし、展示活動のほか児童生徒対象の平和学習会やビデオ・アニメ上映会、学校の利用促進を図るため活動や教員向け見学説明会などを実施しました。

当館及び八重山平和祈念館は、一人でも多くの方に「沖縄戦」の実相を伝え、そして、世界の平和について考える“場”として活用していただきたいと考えており、活動状況をまとめたこの冊子が広くご利用いただければと思います。

平成23年5月

沖縄県平和祈念資料館  
館長 呉屋 禮子

# I 概要

## 1 沿革

### [沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972 (昭和47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974 (昭和49) 年に鉄筋コンクリート2階建て (延床面積1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975 (昭和50) 年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000 (平成12) 年3月31日に閉館。

### [沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000 (平成12) 年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

### [歴代館長]

外間 盛治	2000 (平成12) 年4月	2002 (平成14) 年3月
阿波根 昌安	2002 (平成14) 年4月	2003 (平成15) 年3月
島袋 記美子	2003 (平成15) 年4月	2005 (平成17) 年3月
川満 茂雄	2005 (平成17) 年4月	2007 (平成19) 年3月
宮城 智子	2007 (平成19) 年4月	2009 (平成21) 年3月
大川 芳子	2009 (平成21) 年4月	2011 (平成23) 年3月
呉屋 禮子	2011 (平成23) 年4月	～

### [主な事項]

1993 (平成5) 年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体 (商工美術株式会社 沖縄ノムラ) と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994 (平成6) 年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995 (平成7) 年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞team DREAMに決定
1996 (平成8) 年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 展示設計プロポーザル競技により (株) 乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 監修委員会開催
1997 (平成9) 年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称)・資料収集広報キャンペーンを開催 (巡回展、講演会)
1999 (平成11) 年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会 (最終) 開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館 (旧資料館) 閉館
2000 (平成12) 年度	4月1日	開館 (一般公開始まる)
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催：広島市、長崎市 (～27日)
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催 (～23日)

		アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001年(平成13)年	4月25日	入館者50万人達成
	5月30日	平成13年度第1回沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催
2002(平成14)年度	10月18日	入館者100万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始(～12月18日)
2005(平成17)年度	4月7日	入館者200万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店(運営:沖縄県平和祈念財団)
	7月6日	入館者300万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
	11月6日	第15回日本平和博物館会議開催(～7日)
2009(平成21)年度	9月29日	屋根瓦改修工事(～12月17日工事費20,628千円)
	10月13日	JICA草の根技術協力「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」 開講式(カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館チェ館長以下4名参加 ～11月6日) 屋外展示資料移設工事開始(～11月20日)
	10月6日	包括外部監査実施
	10月17日	常陸宮殿下・妃殿下お成り
	11月18日	入館者400万人達成
	11月30日	ジョン・V・ルース駐日米国大使夫妻視察
	12月22日	常設展示のキャプション整備(英文表記追加)
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え(～3月31日 17,600千円)
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え(～3月19日 2,048千円)

#### [主な企画展等、その他催し]

- 2000(平成12)年度・・・企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(5回)
- 2001(平成13)年度・・・特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会(2回)
- 2002(平成14)年度・・・企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2003(平成15)年度・・・企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2004(平成16)年度・・・特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2005(平成17)年度・・・特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2006(平成18)年度・・・特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2007(平成19)年度・・・特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イカニ)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、



- 2008(平成20)年度・・・沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)、特別企画展「カンポーンクェヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)、新収蔵品展
- 2009(平成21)年度・・・特別企画展「イクサユヌワラビ～戦時下の教育と子どもたち～」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(7回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!!平和創造のうた」、新収蔵品展

## 2 日誌(抄)(2010(平成22)年度)

- 5月5日 児童福祉週間関連ビデオ上映会(祈念ホール)(～5月20日)
- 6月5日 開館10周年関連催事「平和教育の公開授業とパネルディスカッション」の開催(143名参加)
- 6月10日 第1回子ども・プロセス企画展「児童・生徒の平和メッセージ秀作展」開催(～7月11日)
- 6月15日 新収蔵品展(平成21年度分)開催(～7月31日)
- 6月23日 第20回児童・生徒の平和メッセージ展開催(～8月14日)
- 7月13日 2F常設展示室の消毒のため臨時休館(～15)
- 7月22日 事業棚卸し(展示活動事業)(県庁4F)
- 7月25日 第2回子ども・プロセス企画展「チャレンジ!夏休み自由研究」開催(～8月31日)
- 7月27日 皇太子殿下啓
- 8月7日 親子平和学習会
- 8月14日 アニメ上映会及び自由研究教室
- 9月15日 平成22年度沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員委嘱及び第1回運営協議会開催
- 10月2日 馬淵国土交通大臣視察
- 10月5日 資料保存対策と省エネのために企画展示室のスポット照明をLED照明に交換する。
- 10月10日 開館10周年記念特別企画展『「沖縄のこころを」を世界へー過去を伝え 現在をみつめ 未来をひらくー』開催(～12/28)  
第3回子ども・プロセス企画展「開館10周年記念特別企画展関連企画」  
開館10周年記念催事として「平和音楽祭2010」を開催。12月18日まで毎土日曜日に20公演開催。個人、団体20団体、延べ680人が出演
- 10月12日 JICA草の根技術協力「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」  
2年目開講式(カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館職員3名参加 ～11月5日)
- 10月15日 第5回沖縄平和賞会場で、ミニ資料館事業紹介展開催
- 10月30日 開館10周年記念事業として『詩集 写真の中の少年』(東京・駒草出版)を刊行。
- 11月12日 JICA国際協力・交流フェスティバル2010に「沖縄県平和祈念資料館事業展」出展(沖縄国際センター)。「カンボジアの写真展」も併設。
- 12月1日 開館10周年記念関連催事として『「NAHAマラソンの道」～走る道、逃げる道～』展を開催(～15)
- 12月4日 第4回子ども・プロセス企画展「人権ってなあに?ー人権について考えよう」(～28)
- 12月8日 包括外部監査員によるヒアリング

- 12月11日 沖縄戦講座（講師大城将保氏）
- 12月23日 外壁等改修工事（外壁シーリング、屋上の漏水工事～3月20日）
- 1月19日 特別企画展八重山平和祈念館の巡回展開催（～2月26日）
- 2月3日 入館者450万人達成
- 2月16日 平和祈念資料館運営協議会第1回八重山平和祈念館部会の開催
- 3月14日 第5回子ども・プロセス企画展「ピースメモリアルグッズ成果発表会」（～5月14日）
- 3月16日 「子ども・未来・メッセージ展」（台湾・沖縄交流事業展）開催（～4月17日）
- 3月24日 第2回平和祈念資料館運営協議会開催



沖縄県平和祈念資料館外観

### 3 施 設

#### (1) 平和祈念資料館の役割

##### ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

##### イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

##### ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

##### エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

##### オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

#### (2) 建設概要

##### ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

##### イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

##### ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)

工事費 4,900百万円

設計費 155 〃

展示工事費 1,535 〃

展示設計費 126 〃

情報システム 171 〃

その他 404 〃

##### エ 主な施設

常設展示室(1～5室) 1,360平方メートル

企画展示室 255 〃

子ども・プロセス展示室 518 〃

情報ライブラリー 472 〃

平和祈念ホール 245 〃

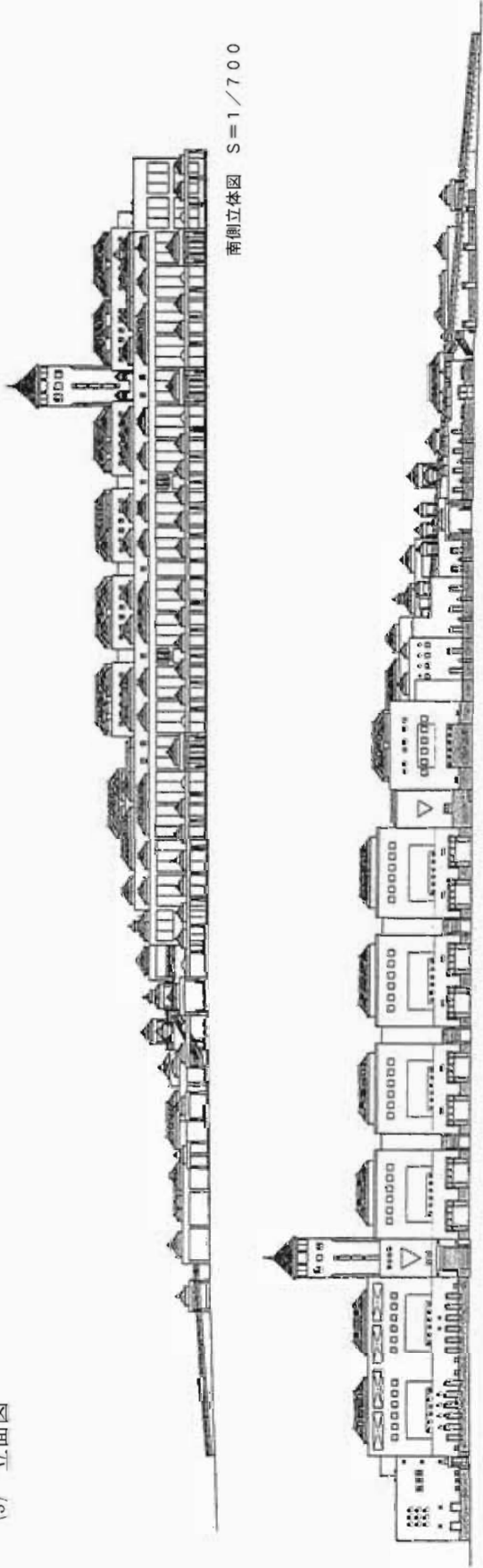
海と礎の回廊 256 〃

会議室 200 〃

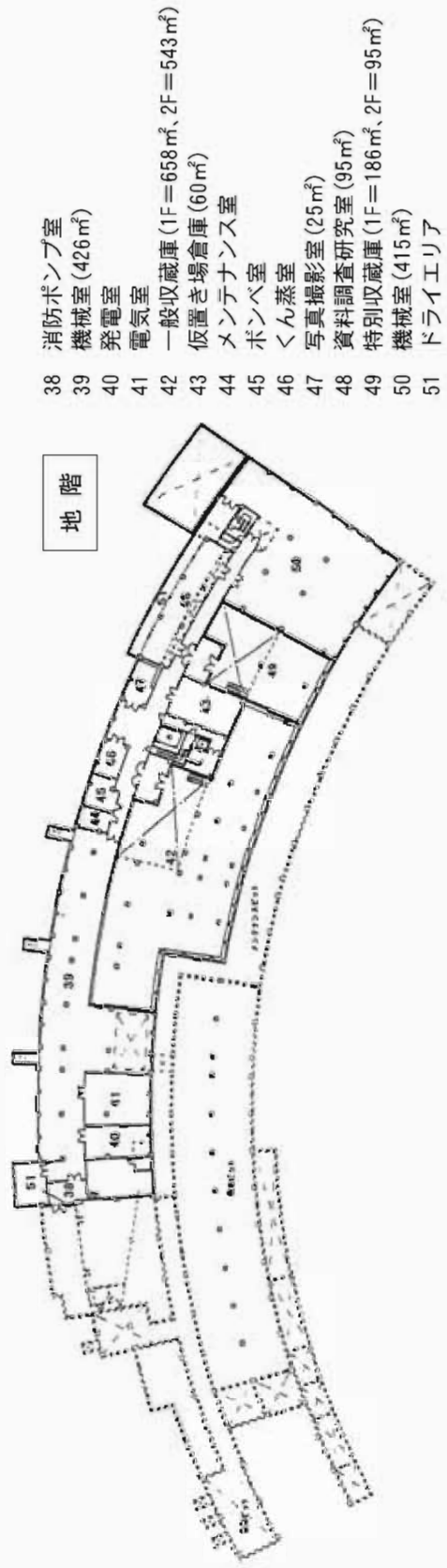
一般収蔵庫 1,201(1F、2F) 〃

特別収蔵庫 281(1F、2F) 〃

(3) 立面図

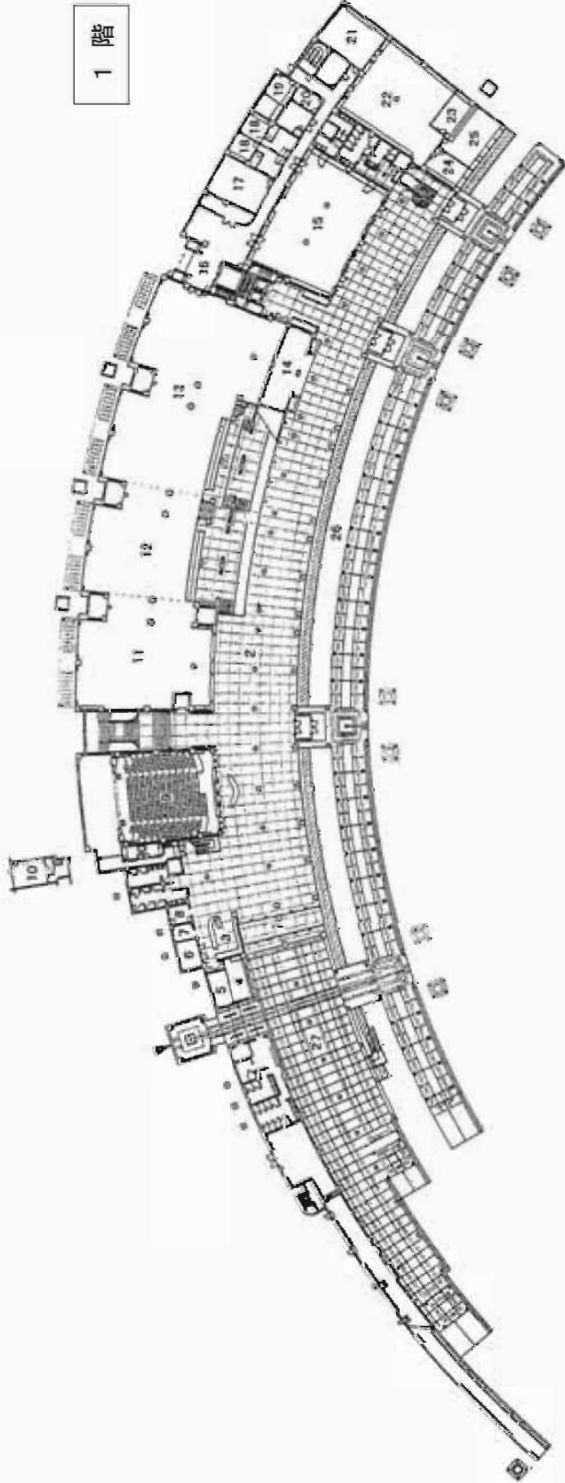


(4) 平面図



- 1 エントランス
- 2 ホール(1510㎡)
- 3 ミュージアムショップ(28㎡)
- 4 事務室
- 5 ボランティア添乗員室
- 6 授乳・救護室
- 7 TELルーム
- 8 ロッカー・自販機室
- 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
- 10 楽屋・調整室
- 11 子供展示室(285㎡)
- 12 プロセス展示室(233㎡)
- 13 情報ライブラリー(472㎡)
- 14 アルコブ
- 15 企画展示室(255㎡)
- 16 荷解き室
- 17 情報処理室(49㎡)
- 18 職員休憩室
- 19 守衛室
- 20 給湯室
- 21 事務会議室(52㎡)
- 22 事務学芸員室(158㎡)
- 23 小会議室
- 24 館長室
- 25 応接室
- 26 中庭
- 27 ピロティー

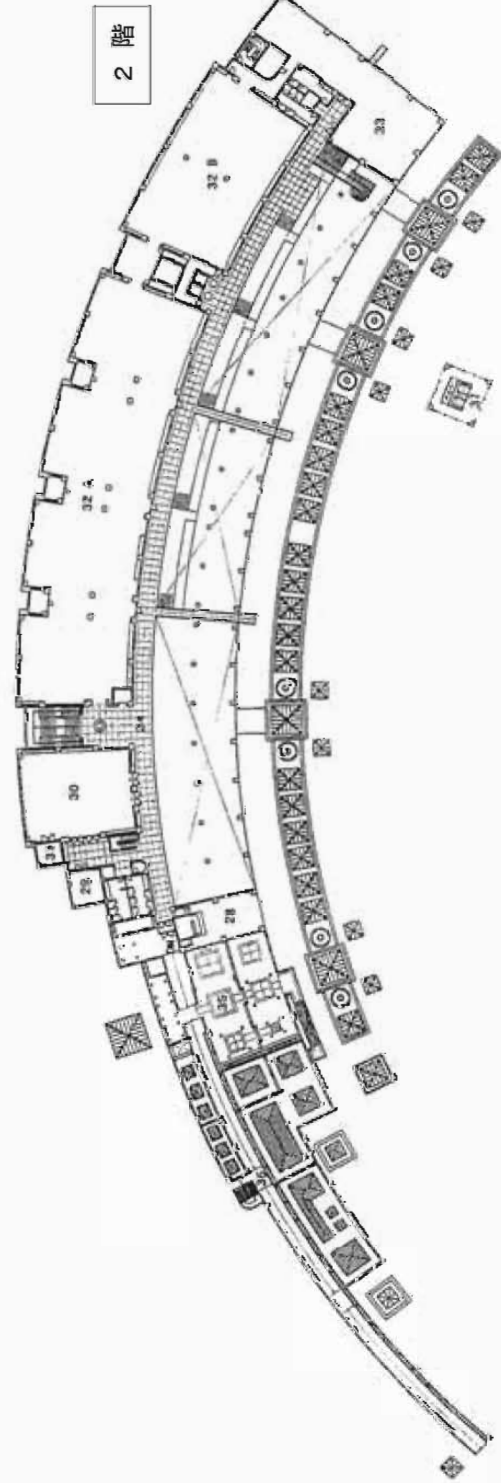
1階 s=1/700



1階

- 28 喫茶室(86㎡)
- 29 事務室
- 30 会議研修室(200㎡・100席)
- 31 調整室
- 32A 常設展示室 1~4 (957㎡)
- 32B 常設展示室 5 (403㎡)
- 33 海と礎の回廊(256㎡)
- 34 キャラリー(373㎡)
- 35 テラス
- 36 外部スロープ
- 37 展望室

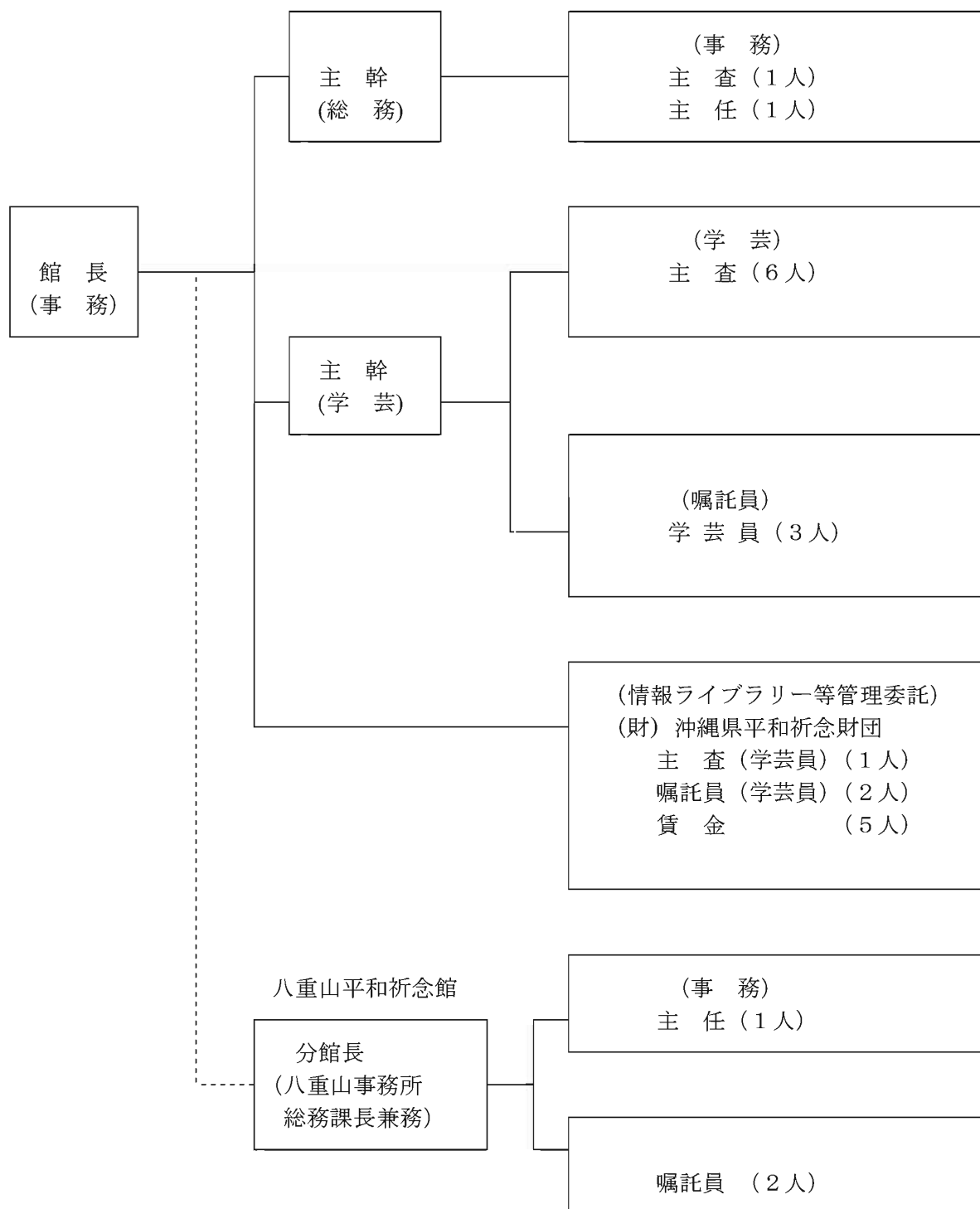
2階 s=1/700



2階

## 4 組織

### (1) 機構（平成23年4月1日現在）



\*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付(4人)、警備(3人)、清掃(2人)、機械設備管理(1人)、  
ライブラリー嘱託職員(2人)、賃金職員(緊急雇用)(5人)

(2) 職員構成（平成23年4月1日現在）

職名	氏名	担当業務
参事兼 館長	呉屋 禮子	資料館業務の総理に関すること

総務

主幹	稲福 淳子 (出納員)	管理運営に係る将来計画の策定に関する事項 予算、決算、監査の総括に関する事項 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他庶務会計に関する事項
主査	金城まゆみ	給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項 文書の收受、保管に関する事項 出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項 需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項 旅費、報酬、謝金に関する事項 決算に関する事項 委託料（展示活動等に係る）に関する事項 備品の執行管理に関する事項 公用車の管理に関する事項 消耗品、切手等の受払に関する事項 雑入に関する事項 共済事務に関する事項 その他庶務会計に関する事項
主任	上地 琢磨	出納事務に関する事項（日計表の確認含む） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 団体入館予約、入館者の日報月報等統計業務に関する事項 歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む） 委託料（管理に係る）に関する事項 修繕料に関する事項 音声ガイド等音響機器の管理に関する事項 機器のリースに関する事項 公有財産に関する事項 その他庶務・会計に関する事項

学 芸

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 幹	永山 清	学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 JICA連携事業に関する事項 復帰40周年記念事業に関する事項 管理運営の将来計画策定に関する事項（学芸的事項） 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 運営協議会に関する事項（委員の選任、運営及び課題） 消防防災に関する事項 予算・決算・議会の資料作成に関する事項 その他学芸業務に関する事項
主 査	島袋 成良	常設展示室（第2室及び屋外展示）の管理運営に関する事項 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（主） JICA連携事業に関する事項（主） ピース・メモリアルグッズの開発に関する事項（副） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 収蔵資料（武器類）の管理に関する事項（共） 平和講話に関する事項 八重山平和祈念館の連絡・調整に関する事項 その他学芸業務に関する事項
主 査	比嘉 正樹	常設展示室（第4展示室）の管理運営に関する事項 新収蔵品展の企画等に関する事項（主） 資料の受理、整理保存に関する事項 収蔵品等整理事業の管理・運営に関する事項 証言映像の収録・編集に関する事項 類似館調査に関する事項 復帰40周年記念事業（副） 友の会活動の支援・推進に関する事項 特別企画展の企画・立案に関する事項（副） 学芸員実習の講義に関する事項（共） JICA研修生への講義に関する事項（共） 収蔵資料（衣類・布製品・工具・農具類・写真）の管理に関する事項（共） 次年度特別企画展の企画等に関する事項（副） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共） 平和講話に関する事項 その他学芸業務に関する事項
主 査	宮城 哲夫	常設展示室（第1・5展示室）の管理運営に関する事項 特別企画展の企画等に関する事項（主） 沖縄県地域史協議会の管理に関する事項 資料館講習会の企画等に関する事項 質問照会の回答担当に関する事項 展示物等の撮影許可・著作権申請等に関する事項 JICA研修生への講義に関する事項（共） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 収蔵資料（軍装品）の管理に関する事項（共） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共） 平和講話に関する事項



	常設展示室の企画コーナーの運営に関する事項 その他学芸業務に関する事項
--	--

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査	神里 哲	常設展示室（第3展示室）の管理運営に関する事項 ホームページの管理運営に関する事項 台湾交流展に関する事項 国際協力調整に関する事項 ピース・メモリアルグッズの開発に関する事項（主） 収蔵資料（英文資料）翻訳に関する事項 沖縄県博物館協会に関する事項 JICA研修生への講義に関する事項（共） JICA連携事業に関する事項（副） 証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（副） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 収蔵資料（文書類・その他）の管理に関する事項 情報化推進リーダーに関する事項（副） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共） 平和講話に関する事項 その他学芸業務に関する事項
主 査	功刀 弘之	常設展示室（子ども・プロセス展示室）及び情報ライブラリー の管理運営等に関する事項 県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項 証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主） 沖縄戦講座の管理運営に関する事項 夏休み子ども向け企画に関する事項 小中学生キャリア教育に関する事項 燻蒸・消毒の実施に関する事項 日本平和博物館会議の管理に関する事項 「子ども・プロセス展示室」及び「情報ライブラリー」活性 化など活用促進に関する事項 「資料館だより」の編集・発行に関する事項 千羽鶴未来プロジェクト及び千羽鶴の受理に関する事項 運営協議会の運営に関する事項（副） 情報推進リーダーに関する事項（主） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（副） JICA研修生への講義に関する事項（共） 収蔵資料（子ども・プロセス展示資料）の管理に関する事項 学校団体等の利用促進に関する事項 その他学芸業務に関する事項
主 査	翁長 直樹	『年報』等の発行に関する事項 観覧者アンケート等統計分析に関する事項 特別企画展の企画・立案（副）に関する事項（副）

		新収蔵品展の企画等に関する事項（副） JICA研修生への講義に関する事項（共） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共） 平和講話に関する事項 その他学芸業務に関する事項
嘱託員 （学芸員）	慶田盛さつき	資料・収蔵品の整理・展示等学芸業務の補助に関する事項 資料等の送付に関する事項
	赤嶺 玲子	アンケート入力に関する事項 HPの作成に関する事項
	新垣 真弓	その他上司の命に関する事項

### 委 託

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 （学芸員）	平 田 守	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の企画等に関する事項 沖縄戦の調査研究に関する事項 収蔵品等整理事業に関する事項 修学旅行・平和教育の講師、説明に関する事項 館長の命による業務に関する事項
嘱 託 員	新 里 彩	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 収蔵品整理に関する事項
	上原 久美	館長の命による業務に関する事項

### 八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	松田 碩志	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主 査	前盛 義和	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項
嘱 託 員	金 盛 早 苗	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項

	東 綾子	観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項
--	------	--

### (3) 人事異動（平成23年4月1日現在）

#### 沖縄県平和祈念資料館

異動	職名	氏名	摘要
転入	館長 主幹 主査 主査 主査 主任	呉屋 禮子 稲福 淳子 比嘉 正樹 功刀 弘之 宮城 哲夫 翁長 直樹 上地 琢磨	統計課から 道路管理課から 潮平中学校から 県立総合教育センターから 県立那覇国際高等学校から 博物館・美術館から 商工振興課から
転出	館長 主幹 主査 主査 主任 嘱託 嘱託	大川 芳子 賀数 民男 園原 謙 伊良部 孝 糸満 修 玉城 晃 我那覇 暁典 大川 由生 新里 彩	定年退職 定年退職 県立博物館・美術館へ 南城市立佐敷小学校へ 県立那覇国際高等学校へ 県立久米島高等学校へ 商工振興課へ 退職 退職

#### 八重山平和祈念館（分館）

異動	職名	氏名	摘要
転入	分館長 主査 嘱託	松田 碩志 前盛 義和 東 綾子	八重山事務所 県税課から 管財課から
転出	館長 主任 嘱託	通事 安憲 下地 美沢 新城 桃子	定年退職 企画調整課 退職

## 5 平成22年度 歳入歳出決算

歳入

単位：円

	常設展示室	ホール等	ミュージアムショップ等	寄附金		合計
資料館観覧料	57,650,580					57,650,580
資料館使用料		1,166,615				1,166,615
建物使用料			275,555			275,555
寄附金				0		0
雑入			248,565			248,565
合計	57,650,580	1,166,615	524,120	0		59,341,315

歳出

単位：円

科目	管理運営事業	管理運営事業(繰越分)	平和祈念資料館 収蔵品等整理事業	ピースメモリアルグッズ 開発事業	展示活動 事業	JICA平和 プログラム事業	合計
報酬	232,500				5,834,700		6,067,200
共済費	335,000						335,000
賃金	2,554,584						2,554,584
報償費	8,000						8,000
旅費	273,860			432,570	457,960	10,240	1,174,630
需用費	34,122,643	3,791,000			486,609		38,400,252
役務費	1,867,944				136,874		2,004,818
委託料	48,612,164	2,572,500	11,737,596	19,899,858	20,243,680	1,653,000	104,718,798
使用料及び 賃借料	10,430,695						10,430,695
工事請負費	0	40,813,500					40,813,500
備品購入費	74,970						74,970
負担金補助 及び交付金	10,000						10,000
合計	98,522,360	47,177,000	11,737,596	20,332,428	27,159,823	1,663,240	206,592,447

## 6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

### (1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員及び八重山平和祈念館部会委員名簿

(任期：平成22年9月15日～平成24年9月14日)

区 分	役職名	氏 名	現 職 名
学識経験者	委 員	金 城 正 篤	琉球大学名誉教授
	会 長	島 袋 秀 光	元沖縄県広報アドバイザー
	委 員	宮 里 正 子	元那覇市歴史博物館主幹（学芸員）
	委 員	木 下 俊 夫	JICA沖縄国際センター所長
	委 員	鳥 山 淳	沖縄国際大学総合文化学部准教授
	委 員	菊 知 良 明	ジェイティビー沖縄代表取締役社長（観光学）
教育関係者	委 員	羽 地 和 枝	元浦添市教育委員会委員長
	委 員	大 城 藤 六	元糸満市教育長
	委 員	嘉 納 英 明	名桜大学教員養成支援センター准教授
そ の 他	委 員	豊 川 あ さ み	有限会社インターリンク沖縄代表取締役
公 募	委 員	新 垣 光 枝	元渡嘉敷村立渡嘉敷幼稚園教頭
	委 員	石 堂 徳 一	元石垣市立博物館長
	委 員	安次嶺 悦 子	県男女共同参画センター運営委員長

### (2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職 名	氏 名	現 職 名
教育関係者	部会長	大 城 藤 六	元糸満市教育長
教育関係者	委 員	嘉 納 英 明	名桜大学教員養成支援センター准教授
公 募	委 員	石 堂 徳 一	元石垣市立博物館長

### (3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

#### ■運営委員委嘱状交付式

#### ■平成22年度第1回運営協議会

日時：平成22年9月15日（水） 14:00～15:45

場所：沖縄県庁 4階第1会議室

内容：

##### (1) 議題

①包括外部監査及び事業棚卸しについて

②入館者について

##### (2) 報告

①平成21年度事業報告

②平成22年度事業経過報告

10周年特別企画展及び関連催事について

#### ■第2回運営協議会

日時：平成23年3月24日（木） 14:00～16:30

場所：平和祈念資料館 2階会議室

内容：

##### (1) 議題

平成23年度事業計画について

##### (2) 報告

①八重山平和祈念館部会報告

②平成22年度事業実績（開館10周年記念関連事業）について

③運営協議会委員の証明書の発行（平成23年1月5日発令）

### (4) 八重山平和祈念館部会活動経過

#### ■第1回八重山平和祈念館部会

日時：平成22年2月16日（水） 13:30～15:30

場所：八重山平和祈念館会議室

内容：

##### (1) 議題

①平成23年度事業計画について

②八重山平和祈念館広報パンフレット製作について

③戦争マラリア遺族会対応について

##### (2) 報告

①平成22年度事業経過報告

②ワークシート使用状況について

## II 調査研究事業

### 1 企画展のための調査研究

平成22年度特別企画展・開館10周年記念特別企画「沖縄のこころを世界へ」の充実に図るため調査研究を実施する。

[対象]

- (1) 当館の沿革、平和発信の拠点施設としての役割を明確にするために、当館をはじめ、旧館のすべての刊行物、関連文献、資料等について研究する。
- (2) 当館が所蔵している資料に対し、学校の平和教育で活用する観点で、教材化するための調査・研究を行う。

[内容]

沖縄県の平和行政、当館のあゆみ、平和発信の拠点施設としての役割、平和学習に役立つ資料100選を特別企画展で公開し、学校で活用できる資料集としてまとめた。

[参考文献]

『沖縄県立平和祈念資料館年報』、『沖縄県平和祈念資料館年報』、「資料館だより」、当館発行の過去の図録その他90冊

### 2 類似館視察調査

本館の機能充実と有効活用を図るため、国内の類似施設（資料館・博物館）を中心に、運営と展示の内容と方法、そして活動内容等を視察調査し、今後の当館の事業運営等に役立てる。

第1回調査

[期間] 平成23年1月21日(金)～1月23日(日)

[視察館]

- ① 昭和館
- ② 東京都江戸東京博物館
- ③ 川崎市平和館
- ④ しょうけい館
- ⑤ 都立第五福竜丸展示館
- ⑥ 東京大空襲・戦災資料センター



しょうけい館視察の様子

[視察および調査事項]

- ① 組織および運営体制 設立経緯 施設概要 事業
- ② 展示活動の工夫
- ③ 教育普及活動
- ④ その他
  - ア. 琉球・沖縄関係資料等の有無
  - イ. 展示方法や保存方法

[調査者]

資料館運営協議会委員 鳥山 淳（沖縄国際大学総合文化学部准教授）  
沖縄県平和祈念資料館 永山 清（学芸主査）  
沖縄県平和祈念資料館 慶田盛 さつき（嘱託学芸員）

### 3 第17回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え、平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究を行うことにより、相互の連携を図りつつ平和推進事業の一層の発展を期することを目的とする。

[開催期日] 平成22年11月10日（水）～11月11日（木）

[開催地]

神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすプラザ）

(1)参加機関および人員

- ・埼玉県平和資料館（1名）
- ・広島平和記念資料館（2名）
- ・川崎市平和館（1名）
- ・長崎原爆資料館（1名）
- ・神奈川県県民局国際課（1名）
- ・ひめゆり平和祈念資料館（1名）
- ・立命館大学国際平和ミュージアム（3名）
- ・ピースおおさか（大阪国際平和センター）（2名）
- ・神奈川県立地球市民かながわプラザ（5名）
- ・沖縄県平和祈念資料館（3名）



[参加者] 大川 芳子（館長） 伊良部 孝（主査） 島袋 成良（主査）

(2)議事等

- ①日本平和博物館会議ロゴマークの選考と使用について（審議）
- ②貸出可能な教材やリストの集約について（報告）
- ③協議題・聴取事項
- ④次回開催館の紹介（ひめゆり平和祈念資料館）

(3)協議事項（ピースおおさか提案）

- ①「日本平和博物館会議」メンバー内での「巡回展」について
- ②「日本平和博物館会議」ロゴマークの具体的な利用方法について
- ③「日本平和博物館会議」の活動等を各館のHP上にアップすることについて

### 4 証言映像の収録・編集

沖縄県民の貴重な戦争証言を本館の情報ライブラリーにおいて利活用するため、証言映像として収録・編集し来館者の閲覧に供する。



[実施内容]

- ①八重山島出身の戦争体験者13名の証言映像を収録
- ②昨年度（宮古地域）収録した15名の映像編集を実施、公開
- ③平成22年度までの進捗状況 収録 628名 公開済み618名

## 5 県外博物館ショップ調査

オリジナルグッズ開発及び事業等の参考にするため類似館の視察ならびにショップを調査することにより、グッズ事業の推進を図る。

[視察および調査事項]

- ①ミュージアムショップ運営、オリジナルグッズ開発
- ②展示資料・方法
- ③教育普及活動 他



県外博物館ショップ調査の様子

### 第1回調査

[期間] 平成22年9月13日(月)～9月17日(金)

[視察館]

- ①長崎原爆資料館
- ②国立長崎原爆死没者追悼祈念館
- ③九州国立博物館
- ④福岡アジア美術館
- ⑤広島平和記念資料館
- ⑥広島市現代美術館
- ⑦立命館大学国際平和ミュージアム
- ⑧京都府京都文化博物館
- ⑨靖国神社立遊就館
- ⑩東京国立博物館
- ⑪国立科学博物館

[調査員] 9名

沖縄県平和祈念資料館 糸満 修 (主査)

沖縄県平和祈念資料館 島袋 成良 (主査)

協同組合沖縄産業計画・沖縄県PMGプロジェクトより6人

### 第2回調査

[期間] 平成22年11月10日(水)～11月12日(金)

[視察館]

- ①神奈川県立地球市民かながわプラザ
- ②神奈川県立歴史博物館
- ③神奈川県立生命の星・地球博物館

[調査員] 3名

沖縄県平和祈念資料館 大川 芳子 (館長)

沖縄県平和祈念資料館 伊良部 孝 (主査)

沖縄県平和祈念資料館 島袋 成良 (主査)

### Ⅲ 展示企画事業

#### 1 常設展

##### (1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

##### 〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

##### 第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

##### 第2展示室「住民の見た沖縄戦―鉄の暴風―」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

##### 第3展示室「住民の見た沖縄戦―地獄の戦場―」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

##### 第4展示室「住民の見た沖縄戦―証言―」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

##### ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

##### 第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。

##### 〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生

徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが、積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

#### 「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

#### 「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

#### 「わらびな一(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための**情報ライブラリー**が設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

### (2) 展示資料の充実等

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器(LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー)とコントローラー、映像ディスク(LDディスクからDVDディスク)を刷新した。
- ②常設展示室2Fの1室と5室の年表パネルを刷新した。
- ③企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。

## 2 企画展

### (1) 第11回特別企画展(開館10周年記念特別企画)

「沖縄のこころを世界へ — 過去を伝え 現在を見つめ 未来をひらく —」

住民を巻き込み多くの犠牲者をだした沖縄戦から65年が経過した。今年が開館10年目の節目の年となる。そこで今回の記念特別企画展では、当館の10年間のあゆみをふりかえるとともに、新たな10年に向けての当館活動を展望し、平和教育の拠点施設としての成長を考える機会とした。

[場所・期間]

- ①沖縄県平和祈念資料館 企画展示室  
平成22年10月10日(日)～12月28日(火)
- ②八重山平和祈念館 第2展示室  
平成23年1月19日(水)～2月26日(土)



[展示内容と構成]

第1部 平和祈念資料館のあゆみ

- ①資料館のあゆみ
- ②資料館の活動
- ③八重山平和祈念館の活動
- ④沖縄県の平和推進活動

第2部 資料が語る「戦争」

— 平和学習に役立つ資料100選 —

第3部 平和を創造する

- ①子ども向け手づくり展示資料・教材
- ②手づくりの国際貢献「沖縄カンボジア『平和博物館』協力」
- ③児童・生徒の平和メッセージ



特別企画展観覧の様子

[観覧者数] 推定1万名

(2) 平成22年度新収蔵品展

寄贈者への感謝の気持ちを表すとともに、新たに収蔵された県民財産を公開することを通して、沖縄戦及び戦前戦後の歴史に対する理解を深める場を提供する。

[場所] 沖縄県平和祈念資料館1階 企画展示室

[期間] 平成22年6月15日(火)～7月31日(土)

[内容]

平成21年度の寄贈および寄託品

- ①実物資料【衣類 写真 軍刀 金属物など】
- ②文書【債券 紙幣 手紙 証明書など】
- ③絵画 写真パネル
- ④展示資料に関する解説パネル

[観覧者数] 1,545名



テープカットの様子

(3) 子ども・プロセス企画展

子ども・プロセス展示室内にある「ひろば・ゆいまーる」を主会場とし、年4回開催する企画展示である。「沖縄戦・平和・人権・国際理解」をテーマにし、それぞれのテーマに対して子どもたちが興味関心を持ち、自ら学ぶ姿勢を育てることをねらいとする。

平成22年度は第5回企画展として、「ピース・メモリアルグッズ開発事業」の成果発表会を開催した。

### 第1回「今、ほくにごできること・・・」

平成17年度第15回「児童・生徒の平和メッセージ」小学校の部詩部門最優秀賞作品とこれまでの図画部門受賞作品を使い、争うことの恐ろしさや愚かさを感じてもらい、平和な世界を創り上げるために私たち一人ひとりに何ができるかを考えさせることをねらいとする。

〔期間〕平成22年6月10日（木）～7月11日（日）

〔内容〕

- ①詩を図画作品とともに読もうコーナー
- ②平和創造メッセージコーナー
- ③世界の紛争地域と核保有国マップ
- ④クイズコーナー

〔観覧者数〕9,546名



### 第2回「チャレンジ！夏休み自由研究 —おじい・おばあが語る戦争の話—」

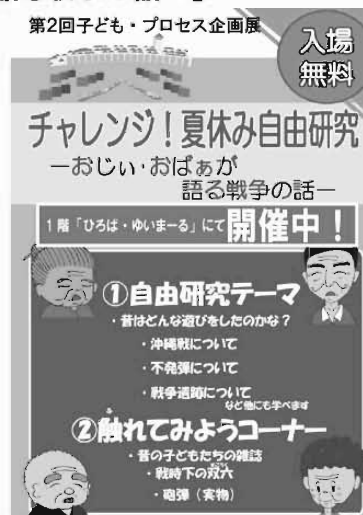
戦争や平和に関して子どもたち一人ひとりが主体的に取り組む自由研究を行えるために、自由研究に活かせる情報を与えられる展示を行う。また、展示のみならず展示された内容に関する書籍も紹介し、情報ライブラリーを活用してもらうことをねらいとする。

〔期間〕平成22年8月1日（日）～31日（火）

〔展示内容〕

- ①戦時下の生活様式全般に関する展示
- ②ハンズオンコーナー
- ③その他展示に関する書籍の紹介

〔観覧者数〕6,445名



### 第3回「ドキドキ！ワクワク！ —子ども・ぷろせすてんじしつってなんだろう？—」

沖縄県平和祈念資料館が開館10周年を迎えるにあたり、新館より設立された「子ども・プロセス展示室」について解説しながら、展示室内にある「せかいの子どもたち」にある18の国々を紹介する。

〔期間〕平成22年10月10日（日）～11月14日（日）

〔内容〕

- ①「子ども・プロセス展示室」ができるまで
- ②「せかいの子どもたち」にある18ヶ国の展示



③「せかいの子どもたち」の中国で紹介されたツァイ・インさんが当館を訪れた際の様子  
の展示

[観覧者数] 15,430名

#### 第4回「人権ってなあに？ —人権について考えよう—」

この企画展では、前文と30条からなる「世界人権宣言」のパネルと共に、世界中の人権侵害を受ける子どもたちの写真パネルを展示するなどを行い、私たちの人権が守られ、幸せな暮らしをおくるためにはどうするべきかを考える機会を提供する展示会とする。



[期間] 平成22年12月4日(土)～28日(火)

[内容]

- ①「世界人権宣言」前文と30条のパネル展示
- ②写真パネル
- ③世界における人権侵害に関する諸問題についての展示パネル
- ④人権に関する書籍の紹介
- ⑤第5回「沖縄平和賞」受賞団体、特定非営利活動法人「シェア＝国際保健協力市民の会(SHARE)」の活動の紹介

[観覧者数] 4,925名

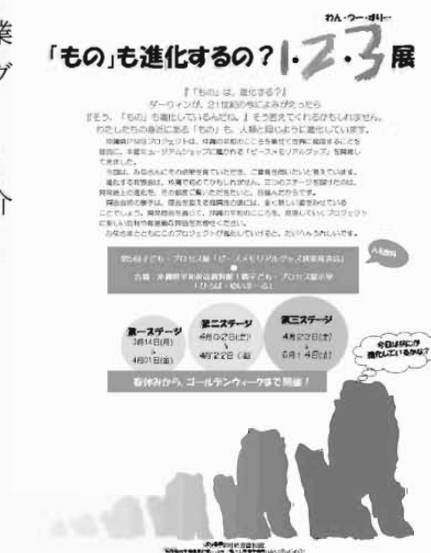
#### 第5回「ピースメモリアルグッズ成果発表会」

開館10周年記念事業として国の緊急雇用創出事業を活用して立ち上げた事業で、当館のオリジナルグッズ開発をめざすもの。

[期間] 平成23年3月14日(日)～5月14日(土)

[内容] 「平和創出」をテーマにした試作品の紹介

※詳細は「開館10周年記念関連事業」の章を参照。



#### IV 資料収集・活用事業

##### 1 新収蔵品目録（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

###### (1) 実物資料

11名の皆様から17件147点の戦前から戦後に関する資料の寄贈があり、これらの資料は新収蔵品展にて一般公開に供する。

No.	資料名	数量	氏名	提供方法	資料区分
1	米軍兵が使用していたナイフ	1	大城 宜秀	寄贈	戦中
2	大東亜戦争【書籍2冊】海軍作戦写真記録	2	福安 孝行	寄贈	戦中
3	電池	7	松永 光雄	寄贈	戦中
	アンプル(うち2点液入り)	5			
4	進軍ラッパ	1	古波蔵 増美	寄贈	戦中
	水筒	2			
5	日本刀	1	ダイアン M. プール	寄贈	戦後
	写真	25			
	セラミック製 手榴弾	1			
6	日露戦争関係書類 証書 など	16	並里 明達	寄贈	戦前
7	国債券など	21	伊波 文博	寄贈	戦前
	戦後葉書など	3			
8	日本刀	1	匿名	寄贈	戦後
9	愛しの妻子へ「戦場からの手紙」	1	有田 澄郎	寄贈	戦中
10	ヘルメット	1	中沢 修平	寄贈	戦中
	電池	9			

## (2) 図書・映像資料

8名の皆様および4団体から77件78点の戦争等に関する図書や映像資料の寄贈があり、これらの資料は当館の情報ライブラリーにて一般の閲覧に供する。

No.	資料名	数量	氏名	提供方法	資料区分
1	書籍「怖い小母さん」	1	宮城 恒彦	寄贈	戦中
2	書籍「沖繩研究—仙台から発信する沖繩学—」	1	犬飼 公之	寄贈	戦後
3	書籍「旅人遊々 ～旅人～」	1	福田 一男	寄贈	戦後
4	悲しき太平洋	1	照屋 景立	寄贈	戦中
5	証言ミッドウェー海戦	1	照屋 景立	寄贈	戦中
6	不遇の提督 堀悌吉	1	照屋 景立	寄贈	戦中
7	海軍かじとり物語	1	照屋 景立	寄贈	戦中
8	海軍七つ釦よもやま物語	1	照屋 景立	寄贈	戦中
9	嗚呼至誠の人 乃木希典将軍	1	照屋 景立	寄贈	戦中
10	哀号・朝鮮人の沖繩戦	1	照屋 景立	寄贈	戦中
11	名将の戦略 その攻めと守りの危機管理とは	1	照屋 景立	寄贈	戦中
12	東郷元帥は何をしたか	1	照屋 景立	寄贈	戦中
13	海軍魂—若き雷撃王村田重治の生涯—	1	照屋 景立	寄贈	戦中
14	連合艦隊の最後 付・連合艦隊の栄光	1	照屋 景立	寄贈	戦中
15	栄光と悲劇 連合艦隊	1	照屋 景立	寄贈	戦中
16	揺れる聖域 リゾート開発と島のくらし	1	照屋 景立	寄贈	戦中
17	我ら降伏せず サイパン玉砕戦の狂気と真実	1	照屋 景立	寄贈	戦中
18	愛の統率安達二十三 第十八軍司令官ニューギニア戦記	1	照屋 景立	寄贈	戦中
19	歴史群像シリーズ16 西郷隆盛	1	照屋 景立	寄贈	戦中
20	歴史群像シリーズ24 日露戦争	1	照屋 景立	寄贈	戦中
21	歴史群像シリーズ52 山本五十六	1	照屋 景立	寄贈	戦中
22	別冊歴史読本 第09(504)号 秘蔵写真 日露戦争	1	照屋 景立	寄贈	戦中
23	別冊歴史読本 第15(213)号 戦争裁判 処刑者一千	1	照屋 景立	寄贈	戦中
24	別冊歴史読本 第22(517)号 海軍機動部隊全史	1	照屋 景立	寄贈	戦中
25	別冊歴史読本 第23(221)号 海軍の名参謀 井上成美	1	照屋 景立	寄贈	戦中



26	別冊歴史読本 第25(322)号 日本海軍海戦総覧	1	照屋 景立	寄贈	戦中
27	別冊歴史読本 第34(232)号 女性たちの太平洋戦争	1	照屋 景立	寄贈	戦中
28	別冊歴史読本 第38(137)号 日本陸海軍航空隊総覧	1	照屋 景立	寄贈	戦中
29	別冊歴史読本 第41(140)号 日本陸軍機械化部隊総覧	1	照屋 景立	寄贈	戦中
30	別冊歴史読本 第57(255)号 日本海軍総覧	1	照屋 景立	寄贈	戦中
31	別冊歴史読本 第61(358)号 戦艦大和と艦隊戦史	1	照屋 景立	寄贈	戦中
32	別冊歴史読本 第65(461)号 太平洋戦争情報戦	1	照屋 景立	寄贈	戦中
33	別冊歴史読本 第75(372)号 零戦と日本航空戦史	1	照屋 景立	寄贈	戦中
34	別冊歴史読本 第79(178)号 満州国最期の日	1	照屋 景立	寄贈	戦中
35	別冊歴史読本 第83号 未公開写真に見る日中戦争	1	照屋 景立	寄贈	戦中
36	別冊歴史読本 第97(295)号 日本陸海軍名将名参謀総覧	1	照屋 景立	寄贈	戦中
37	別冊歴史読本 <終戦50周年記念特集>語りつぐ昭和 第1集	1	照屋 景立	寄贈	戦中
38	別冊歴史読本 <終戦50周年記念特集>語りつぐ昭和 第2集	1	照屋 景立	寄贈	戦中
39	「一億人の昭和史」 1 満州事変前後	1	照屋 景立	寄贈	戦中
40	「一億人の昭和史」 5 占領から講和へ	1	照屋 景立	寄贈	戦中
41	「一億人の昭和史」 6 独立—自立への苦悩	1	照屋 景立	寄贈	戦中
42	「一億人の昭和史」 7 高度成長の軌跡	1	照屋 景立	寄贈	戦中
43	「一億人の昭和史」 8 日本株式会社の功罪	1	照屋 景立	寄贈	戦中
44	「一億人の昭和史」 9 金権が生んだ汚職列島	1	照屋 景立	寄贈	戦中
45	「一億人の昭和史」 10 不許可写真史	1	照屋 景立	寄贈	戦中
46	「一億人の昭和史」 11 昭和への道程—大正	1	照屋 景立	寄贈	戦中
47	「一億人の昭和史」 12 昭和の原点 明治(上)	1	照屋 景立	寄贈	戦中
48	「一億人の昭和史」 13 昭和の原点 明治(中)	1	照屋 景立	寄贈	戦中
49	「一億人の昭和史」 14 昭和の原点 明治(下)	1	照屋 景立	寄贈	戦中
50	「一億人の昭和史」 15 昭和史写真年表	1	照屋 景立	寄贈	戦中
51	非核自治体宣言文集 (全7冊)	1	非核自治体通信	寄贈	戦後
52	非核自治体インフォメーション(全4冊)	1	法政大学西田勝研究室 非核ネットワーク	寄贈	戦後
53	月刊 非核自治体通信(全3冊)	1	法政大学西田勝研究室	寄贈	戦後
54	人類の最大犯罪は戦争 桑原啓善著	1	熊谷 えり子	寄贈	戦後
55	【DVD】 CURE MUSIC & VIDEO なみだ	1	福田 一男	寄贈	戦後
56	【DVD】 CURE MUSIC & VIDEO 祈り	1	福田 一男	寄贈	戦後

57	Music & Video “Tranquilizer”	1	福田 一男	寄贈	戦後
58	「南風」 富岡博志 作品集	1	福田 一男	寄贈	戦後
59	「遙かな季節」 富岡博志 作品集	1	福田 一男	寄贈	戦後
60	「戦場の子守歌」 歌 芹洋子	1	福田 一男	寄贈	戦後
61	あけもどろの空 -ちびっこヨキの沖縄戦-	1	仲座 ヨキ	寄贈	戦後
62	沖縄戦と民間人収容所	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
63	沖縄に向き合う(沖縄・問いを立てる 第1巻)	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
64	方言札(沖縄・問いを立てる 第2巻)	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
65	攪乱する島(沖縄・問いを立てる 第3巻)	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
66	イモとハダシ(沖縄・問いを立てる 第5巻)	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
67	反復帰と反国家(沖縄・問いを立てる 第6巻)	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
68	沖縄空白の一年	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
69	「沖縄県平和祈念資料館」その真実	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
70	フォト・ドキュメント骨の戦世	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
71	地図にない村	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
72	ひめゆり	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
73	石のラジオ	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
74	沖縄・戦後子ども生活史	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
75	オキナワを歩く 学生は何を見何を感じたか沖縄戦跡巡礼の3日 3(いのちをみつめる叢書 別巻3)	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
76	オキナワを歩く 元白梅学徒隊員沖縄戦を語る(いのちをみつめる叢書 別巻1)	1	沖縄国際大学	寄贈	戦後
77	おもいをつむぐ琉歌(サイパン)	2	仲松 美代子	寄贈	戦後

## 2 資料貸出

### (1) 写真パネル、実物、児童・生徒の平和メッセージ展パネル

資料館では、写真パネル（計201点）、沖縄戦実物資料（20種類）、児童・生徒の平和メッセージ展図画・作文・詩入選作品パネル、世界人権宣言絵画パネル一式（35枚一式）「沖縄戦の絵」複製パネル（52点）を貸し出しております。平成22年度は、計42件592点の貸出をしました。

（県内）

	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	日本赤十字社沖縄県支部	子ども・プロセス企画展使用パネル	2	5/8～5/10
2	伊平屋村立伊平屋中学校	有限会社オフィスDVD	1	5/21～6/21
3	糸満市立中央図書館	写真パネル 実物資料	20	6/10～6/21
4	情報労連沖縄県協会	写真パネル	10	5/26～6/1
5	八重瀬町立東風平中学校	お笑い米軍基地DVD	3	6/4～7/2
6	宜野湾市教育委員会	写真パネル 実物資料 沖縄戦の絵	19	6/14～7/6
7	宜野湾市教育委員会	写真パネル	1	10/12～10/22
8	沖縄県音楽文化振興会	円覚寺複製模型一式	14	11/1～2/20
9	沖縄ベトナム友好協会	子ども・プロセス企画展使用パネル	13	1/26～2/26
10	沖縄県立西原高等学校	実物資料	10	1/31～2/21
	小計		93	

（県外）

1	大阪府吹田市平和祈念資料館	写真パネル	20	8/11～9/3
2	和歌山県田辺9条の会	平和メッセージ展作品	20	5/28～6/1
3	長野県長野市立長野高等学校	写真パネル 実物資料	20	6/21～7/16
4	高知県高知市役所	写真パネル 実物資料	20	7/29～8/17
5	京都府城陽市役所	写真パネル	20	7/26～7/20
6	6・29岡山市民平和祭実行委員会	写真パネル	20	6/19～6/29
7	聖公会神学院	写真パネル	10	6/3～6/7
8	鳥取県生活協同組合西部エリア	写真パネル 沖縄戦の絵	12	7/29～8/23
9	北海道本別町歴史民俗資料館	実物資料 沖縄戦の絵	14	6/18～8/6
10	秋田県連合秋田中央地協	写真パネル 沖縄戦の絵	20	7/27～8/5
11	奈良県川西町人権教育推進協議会	写真パネル 平和メッセージ展作品	20	7/27～8/20
12	東京都日野市役所	写真パネル 平和メッセージ展作品	20	8/3～8/10
13	岐阜県各務原市職員労働組合連合会	写真パネル	20	7/29～8/3
14	東京都港区市役所	写真パネル	20	8/2～8/26
15	日本労働組合総連合会千葉県連合会	写真パネル	20	6/23～6/28
16	大阪府「ピース・イン・しんひのお」	証言集	10	7/30～8/5
17	奈良県橿原市立金橋小学校	写真パネル 実物資料	13	8/31～9/15
18	岐阜県九条の会・萩原	写真パネル	8	7/31～8/15
19	東京都大田区立男女平等推進センター「エセなおた」	写真パネル	14	8/2～9/2
20	神奈川県秦野市役所	写真パネル 実物資料	16	8/9～8/20
21	平和のための埼玉の戦争展実行委員会	実物資料	6	7/28～8/5
22	長野県平和憲法を守る安曇野の会	写真パネル	20	8/14～8/16
23	埼玉県立草加東高等学校	写真パネル 実物資料	20	9/1～9/20
24	埼玉県立桶川高等学校	写真パネル 沖縄戦の絵	13	9/2～9/6
25	埼玉県越谷市役所	写真パネル	20	10/22～11/5
26	京都府福知山市役所	写真パネル	20	10/5～10/16
27	長野県立南安曇農業高等学校	写真パネル	11	10/14～10/22
28	NHK文化福祉番組部（東京）	実物資料	1	10/5～10/15
29	三重県津市立東観中学校	写真パネル 実物資料	10	10/18～10/31
30	兵庫県聖トマス大学大学実行委員会	写真パネル	20	11/1～11/5
31	国立歴史民俗博物館	実物資料	1	2011/1/10～3/31
32	大阪府吹田市立古江台中学校	写真パネル 実物資料	20	1/26～2/26
	小計		499	

## (2) 証言映像の貸出

戦争体験証言ビデオや収容所生活等の映像を貸し出すことによって、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを伝える。

[概要]

貸出本数 合計51件153本

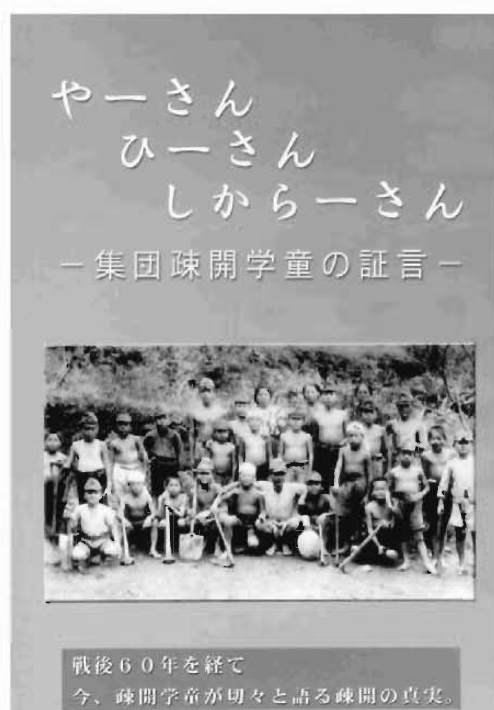
(県外32件98本、県内19件55本)

貸出ビデオ ①証言ビデオ28巻(原則として1本に3名分、計81名分の証言)

②『やーさん ひーさん しからーさん —集団疎開学童の証言—』

③『そして僕らは生き残った』

※貸出期間は原則として2週間以内、貸出本数は原則5本以内とする。



### 3 撮影・掲載等利用一覧

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	台湾ハンセン病資料館設立準備 蘇惠卿	館内及び常設展示室の撮影（特にハンセン病患者証言の紹介方法）ハンセン病歴史資料館設立の参考のため	1	4/2
2	沖縄県立博物館・美術館 岸本弘人	第5展示室「高等弁務官」の写真 常設展示の補助資料として	1	4/6
3	日本放送協会沖縄放送局 瀧川剛史	第19回児童・生徒の平和メッセージ展・作文部門平成21年度最優秀賞作品『平和への決意』（当時 渡名喜中学校1年 大城美貴）番組内にて朗読	1	4/14
4	ミクロプレス 玉井優雅	平和祈念資料館（外観）、常設展示室・子どもプロセス展示室の撮影 観光情報誌に掲載のため	1	4/15
5	吹田市自治人権部人権平和室 自治人権部長 坂本治義	平和の礎の写真、白旗の少女（パネルNO. E-002-1）（1点）展示会ポスターに掲載	1	4/23
6	韓国放送局 ホン・ユンシン	資料館展示室内撮影 番組内での紹介のため	1	4/26
7	株式会社 ナヴィインターナショナル 菊池友彦	沖縄戦米軍記録写真32（1点） 沖縄島への上陸作戦を展開する米軍 書籍に掲載のため	1	4/30
8	高知市 市長 岡崎誠也	沖縄戦米軍写真10点 39,58,98,132,140,211,224,300,303,554 「沖縄戦展」ポスター、チラシへの掲載・展示のため	10	5/6
9	株式会社大月書店 松原忍	NHK出版沖縄戦の絵「スパイ容疑をかけられた私」（大城政英さん画） 林博史著「沖縄戦が問うもの」に転載収録	1	5/7
10	丸正印刷(株) 教田泰文	資料館展示室内撮影 金秀が 付情報誌『ユンタクタイム』6月号への記事掲載のため	1	5/20
11	中京テレビ 吹上直裕	展示室内の高校生の活動 ニュース・エブリイ 特集愛知の高校生が見た「いまの沖縄」放送のため	1	5/25
12	財団法人茶道裏千家淡交会 支部長 親泊 一郎	第19回児童・生徒の平和メッセージ展・詩部門平成21年度最優秀賞作品『平和のいのり』（当時大里北小6年比屋根憲太）朗読・プログラムへの掲載	1	5/27
13	宜野湾市教育委員会教育部 文化課長 呉屋義勝	沖縄戦記録写真 19,32,41, 75,78,140,221,224,227,231,296,303,336,560,562,644,647,650,651（19点）戦争体験証言映像5人分 平和展にて使用	18	5/31
14	琉球朝日放送株式会社 代表取締役社長 仲村一夫	資料館展示室内撮影舞台『ニーナとオジーの戦世』出演者見学様子、ニュースで放送のため	1	6/4
15	川西町人権教育推進協議会 上原大洋	平成21年度児童・生徒の平和メッセージ入賞作品（3点） 小学校（平和のいのり）、中学校（刻まれた名前）、高等学校（小さな島から世界へ）	3	6/7
16	中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター 難波健治	沖縄戦米軍記録写真 224（1点）子ども新聞に掲載のため	1	6/8
17	朝日学生新聞社大阪支社 支社長 高橋正弘	沖縄戦米軍記録写真 84,85,138,203,240,241,247（7点）小学生・中学生新聞に掲載のため	7	6/9
18	フジテレビ 情報制作局 めざましテレビ 岩村真理子	第4展示室の撮影 番組で放送のため	1	6/10
19	株式会社ジン・ネット 高世仁	第1展示室（特に方言札）の撮影 番組で使用するため	1	6/12
20	琉球大学非常勤講師 北上田源	沖縄作戦における沖縄島民の行動（富士学校総合教育部）の複写。講義での使用のため。	1	6/13
21	高知市 市長 岡崎誠也	「沖縄県平和祈念資料館ガイドブック」（H3年8月改訂版）P28、29、P35、P36、P63、P143～P149資料の展示について	12	6/18
22	中京テレビ 三輪保太郎	展示室内の高校生の活動 ニュース・エブリイ 特集「それぞれの戦後」放送のため	1	6/22
23	日本学生会議 加藤梓	展示室内を見学する日米学生会議の学生を撮影	1	6/23
24	日本子どもの本研究会 黒沢浩	第20回児童・生徒の平和メッセージ・詩部門平成22年度最優秀賞作品『変えてゆく』（普天間高校3年 名嘉 司央里）雑誌への掲載のため	1	6/27
25	千葉県中央図書館 館長 鹿間陸郎	第15回児童・生徒の平和メッセージ展・詩部門平成17年度最優秀賞作品『平和な今』（当時 与那原東小学校3年 上原凛）展示会に展示	1	7/7
26	丹波市立氷上文化センター センター長 植田正明	第20回児童・生徒の平和メッセージ・詩部門平成22年度最優秀賞作品『変えてゆく』（普天間高校3年 名嘉司央里）配布資料への掲載のため	1	7/7
27	株式会社ジン・ネット 高世仁	第1展示室、第2展示室撮影、沖縄戦米軍記録写真613 番組で使用するため	1	7/9
28	山口放送株式会社 報道制作局長 山崎浩介	岩国の平和団体が展示室を参観している様子ニュース特集取材	1	7/9
29	大田区立男女平等センターおた 指定管理者 牟田静香	沖縄戦米軍記録写真 206,231,267,300, 556, 627（6点） 写真展広報チラシに掲載のため	7	7/14
30	朝日新聞出版 統括編集長 中村正史	投降勧告ピラ、出版物への掲載のため	1	7/14
31	株式会社ベロワイ 石川修	資料館内の様子の撮影、番組内で紹介のため	1	7/17
32	テレビ朝日映像 会田昌弘	アメリカ軍宣伝ピラ、朝日新聞（S20.4.3/4.4）、米軍記録写真9,30,140,144,147,196,197,233,234,236,242,248,294,299,300（15点） 番組内で使用	15	7/20
33	琉球放送(株) 上原直彦	平成22年度児童・生徒の平和メッセージ 作文最優秀作品（3点） 小学校（大城未歩）、中学校（宮良亘）、高等学校（知花かおり）HPへの掲載のため	3	7/21

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
34	各務原市職員労働組合連合会 執行委員長 金武健徳	沖縄戦米軍記録写真32, 72 (2点) 平和展広報チラシ掲載のため	2	7/26
35	沖縄国際大学社会文化学科 非常勤教員 西岡信之	反戦イラク帰還兵の会のメンバー参観の様子の撮影	1	7/26
36	TBSテレビサンデーゾーン 大久保竜	展示室内の撮影、沖縄戦米軍記録写真24, 132, 140, 206, 208, 212, 246, 257, 297 (9点) 終戦特別企画放送のため	9	7/28
37	BAN-BANテレビ (株) 長尾義純	沖縄戦米軍記録写真19, 58, 64, 113, 132, 771 (6点) 番組内で使用のため	6	7/30
38	日本グラフィックデザイナー協会 川平勝也	沖縄戦米軍記録写真12, 53, 81 (3点) 反戦ポスター制作のため	3	8/1
39	ニセコ小学校 藪田晃一	展示室内の撮影、補助教材作成のため	1	8/3
40	北海道テレビ放送株式会社 代表取締役社長 萩谷忠男	展示室内の撮影、ニュース番組での放送のため	1	8/5
41	毎日新聞社 大沢瑞季	沖縄戦米軍記録写真726, 727, 728, 729, 730, 731 (6点) 記事資料として	6	8/6
42	琉球放送株式会社 代表取締役社長 座安弘	日本・イスラエル・パレスチナ学生会議のメンバー参観の様子の撮影、ニュース番組での放送のため	1	8/9
43	琉球朝日放送 岸本貴博	日本・イスラエル・パレスチナ学生会議のメンバー参観の様子の撮影、ニュース番組での放送のため	1	8/9
44	日本放送協会ライヴアーカイブセンター 部長 櫻野英一	沖縄戦米軍記録写真351 (1点) 放送済み番組のNHKアーカイブ番組公開ライヴアーカイブへの収録、無償公開のため	1	8/9
45	(株) テレビ東京 野田武尾	米軍記録写真19, 22, 32, 44, 51, 52, 85, 86, 108, 113, 132, 140, 150, 219, 220, 230, 236, 239, 240, 241, 247, 249, 303, 759 (24点) 番組資料、映像として	24	8/11
46	TNCテレビ西日本報道部 正木伸一郎	沖縄戦米軍記録写真132, 358, 371 (3点) 番組で使用するため	3	8/14
47	琉球朝日放送 仲村一夫	具志川村警防団日記 ニュース番組で放送のため	1	8/16
48	琉球朝日放送 岸本貴博	第5展示室(戦後の復興コーナー)の撮影 ニュース番組で放送のため	1	8/18
49	株式会社東洋企画印刷 代表取締役 大城孝	総合案内P61(米軍の進撃ライン)、米軍写真データ85、227、230、233、289、613 (6点) 「沖縄から見える歴史風景」出版のため	6	8/24
50	永井美千代	沖縄戦の絵(4作品) 平和を訴えるビデオ作品にまとめるため	4	9/1
51	ライター デザイナー 富井稷	資料館の内観、外観 地球の歩き方MOOK「地球の歩き方2011」に掲載のため	1	9/2
52	宜野湾市教育委員会 教育部文化課教育長 宮城茂雄	沖縄戦写真パネル B-018 (1点) 嘉数高台公園内の戦跡説明板に使用のため	1	9/24
53	株式会社社造事務所 代表取締役 高橋修	資料館の外観(4点) PHP研究所「沖縄大研究」に掲載のため	4	9/28
54	鵬友学園 校長 西川邦子	平和の礎を含む資料館外観(4点) 修学旅行(平和学習)資料作成のため	4	9/28
55	日本放送協会 第一制作センター部長 堤啓介	沖縄戦実物資料:小銃(1点) 歴史は眠らない「沖縄・日本の400年」で放送のため	1	9/30
56	日本放送協会 第一制作センター部長 堤啓介	米軍記録写真 233 (1点) 歴史は眠らない「沖縄・日本の400年」で放送のため	1	10/4
57	パナソニック電工沖縄営業所 冨田佳秀	企画展示室内 LED照明設置箇所(全体・展示ケース) 社団法人照明学会平成22年度照明普及賞への応募用写真撮影及び掲載	1	10/4
58	嘉手納町教育委員会 教育長 真喜屋清	米軍記録写真 032 (1点) 沖縄戦上陸碑の説明用写真として	1	10/13
59	沖縄観光情報誌 島ポッケ 森直仁	資料館外観・内観 沖縄観光情報誌 島ポッケへ掲載のため	1	10/15
60	ライター デザイナー 富井寛	資料館外観・内観 成美堂出版「Travel Style」(観光ガイドブック)への掲載のため	1	10/16
61	(株) ガリバープロダクツ 代表取締役 通谷章	資料館外観・内観 明治書院「オトナのための社会見学ガイド」への掲載のため	1	10/16
62	沖縄お仕事啓発まんがコンテンツ事業部 山里毅彦	資料館内観 Webサイト「沖縄まんが物語」で紹介	1	10/19
63	(株) メディア総合研究所 古野真弘	資料館外観・摩文仁の丘 NHKBS2「私のうたの道 森山良子」で使用	1	10/21
64	国立歴史民俗博物館 館長 平川南	第一展示室「方言札(複製品)」の写真データ 国立歴史民俗博物館の総合展示(常設展示)でのパネル展示のため	1	11/5
65	中部日本放送報道部企画担当 難波将司	米軍記録写真 282, 287, 307 総合案内P107(かみ三線の写真)(4点)、CBCのニュース番組の企画コーナーで利用	4	11/8
66	朝日新聞出版 統括編集長 中村正史	投降勧告ピラ 「週刊マンガ日本史」第49号 電子書籍として配信するため	1	11/16
67	有限会社海象社 古館明廣	米軍記録写真 113, 140, 234 (3点) 岩崎書店発行『日本歴史謎の物語』の第5巻に掲載のため	3	11/19

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
68	うるま市 川辺孝子	戦争体験証言ビデオ（小橋川篤信さん）の複製 家族用資料として保管するため	1	11/26
69	南城市教育委員会 教育長 高嶺朝勇	米軍記録ビデオ 428-NPC（軍政府知念から撤収する） 南城市誕生5周年記念写真展で使用するため	1	11/29
70	沖縄ベトナム友好協会 國吉宏昭	児童・生徒の平和メッセージ展・詩部門度最優秀賞作品 『平和な今』（上原凜）『世界を見つめる目』（嘉納英佑）ホームページで紹介	2	12/1
71	NHK大型企画開発センター センター長 佐藤幹夫	米軍記録写真137, 140, 295, 302, 540, 545, 551, 557, 564（9点） NHK衛星ハビタジョン 兵士たちの戦争で使用のため	9	12/2
72	株式会社オフィスワイズ 山田敬三	展示室内撮影 映画「太平洋の奇跡～フォックスと呼ばれた男」のイベントの撮影場所の確認のため	1	12/2
73	岡山中央中学校 校長 曳野富士夫	沖縄で平和を考える（平和学習について）のプレゼンテーションデータ 修学旅行事前指導に使用	1	12/2
74	歴史教育協議会 委員長 山田朗	米軍記録写真299 歴史地理教育1月号に掲載するため	1	12/3
75	(財)沖縄県文化振興会 理事長 尚弘子	久米島 鹿山文書の撮影 「沖縄県史 各論編5近代」の資料として使用	1	12/6
76	株式会社オフィスワイズ 山田敬三	会議室、喫茶室記念ホールでの撮影 映画「太平洋の奇跡～フォックスと呼ばれた男」の戦争を伝えるイベント取材のため	1	12/10
77	JTB関東沖縄分室 マネージャー 池田清明	沖縄戦の戦闘経過図総合案内P61、米軍記録写真120, 132, 201, 296, 297, 371 沖縄戦の絵「疎開船への攻撃」(8点) 修学旅行事前学習教材作成のため	8	12/20
78	NHK大型企画開発センター センター長 佐藤幹夫	兵隊集合写真8枚（軍隊の写真帳より） NHK衛星ハビタジョン 兵士たちの戦争で使用のため	1	12/21
79	国立歴史民俗博物館 館長 平川南	「手榴弾（C-06）」の複製 複製品の製作と総合展示（常設展示）での展示のため	1	12/27
80	沖縄県コンベンションビューロー	観光情報ウェブサイト『おきな物語』のアプリケーション、サイト等への掲載許諾	1	12/28
81	サガテレビ報道制作部 副部長 鶴丸英樹	戦没者遺体収容報告会（当館会議室）の様子と常設展示室の撮影 FNSドキュメンタリー、STSスーパーニュース取材のため	1	1/10
82	厚生労働省社会・擁護局業務課 課長	米国国立公文書館フィルム（ビデオ）18, 19, 24, 35, 36, 98, 159, 190, 191, 225, 239(11点) 映像の保存、継承のため国立の施設である「昭和館」で複製	11	1/14
83	株式会社JTBフォト 代表取締役社長 宮田悦雄	米軍記録写真 11, 124, 360, 361, 362, 363（6点） 高校国語（東京書籍）の教科書へ掲載のため	6	1/18
84	月刊九州王国編集室 上田瑞穂	資料館外観・内観写真 観光ガイドブック「沖縄 親子で楽しむ徹底ガイド」に掲載のため	1	1/20
85	ミクロプレス 草野裕樹	資料館外観・内観写真 「夢プラン 花丸パーゲンバック沖縄2011春号」 に掲載のため	1	1/25
86	(株) 日本旅行関西法人営業部 梅原元	資料館外観・内観写真 日本商業写真家協会旅行のしおりに掲載のため	1	1/26
87	TNCテレビ西日本報道部 正木伸一郎	沖縄戦米軍記録写真85、132、230、358、371、1078（5点） 番組で使用するため	5	1/27
88	株式会社新日本出版社 代表取締役 小櫻勲	沖縄戦米軍記録写真140 ビジュアルブック 語り伝える東京大空襲第4巻へ掲載のため	1	2/1
88	(財)沖縄県文化振興会 理事長 尚弘子	具志川村警防団 警防団日誌の撮影 新沖縄県史資料編⑥の資料として	1	2/2
89	株式会社東洋企画印刷 代表取締役 大城孝	久米島 鹿山文書の掲載 「沖縄県史 各論編5近代」の資料として使用	1	2/2
90	日本文教出版株式会社 東京本社統括部長 伊藤正男	第4室の写真、館外観 小学校社会科拡大教科書（弱視児童用）・教師用 指導書付属DVD（教科書をPDF化）に使用するため	1	2/18
91	東京書籍株式会社 代表取締役社長 川畑慈範	米軍記録写真 224、227、443、1224、モンペ、手榴弾の写真（6点） 高校1年生用国語教科書の小説教材「沖縄の手記から」に掲載のため	6	3/3
92	株式会社福島中央テレビ 福島支社 支社長 石井清夫	常設展示室内の子どもの見学の様子を撮影。ニュースとして放映するため。	1	3/3
93	株式会社JTBフォト 代表取締役社長 宮田悦雄	沖縄米軍写真記録 1 39 59 61 229（5点） 小学校社会科テスト「沖縄戦」での紹介として使用予定のため	5	3/11
94	与那原町教育委員会 町史編集室課長 辺土名彬	生命を助けるピラ 与那原史戦時記録編「与那原の沖縄戦」掲載のため	1	3/18
95	パナソニック電工沖縄営業所 冨田佳秀	企画展示室内 LED照明設置箇所（全体・展示ケース） 平成22年度照明普及賞にて専門誌撮影及び当社納入事例集掲載	1	3/23
96	大阪府教育委員会児童生徒支援課 課長 梶谷尚義	第17回・19回平和メッセージ 詩部門中学校年度最優秀賞作品「写真の中の少年」 ・「友の死を忘れない」 米軍記録写真009, 224 人権教育教材集に使用	4	3/23
97	株式会社JTBフォト 代表取締役社長 宮田悦雄	総合案内P91の写真データ 小学館発行「ジュニア日本の歴史 第7巻」に掲載のため	2	3/28
98	株式会社JTBフォト 代表取締役社長 宮田悦雄	沖縄米軍写真記録 69 教育同人社小学校社会科テストとして使用予定のため	1	3/28
			279点	

## V 教育普及事業

### 1 教育普及行事

#### (1) 第20回児童・生徒の平和メッセージ展

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後、65年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



①応募総数 (4,621点) 図画2,165点 作文605点 詩1,851点

②平成22年度沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者

沖縄県立普天間高等学校3年 名嘉 司央里

③県内3会場にて展示会の実施

①沖縄県平和祈念資料館 2階海と礎の回廊 期間：6月23日～7月8日

②八重山平和祈念館 第2展示室 期間：7月14日～7月28日

③沖縄県庁 1階県民ホール 期間：8月9日～8月13日

④表彰式

[日時] 8月9日 午前11時～正午 沖縄県庁 1階県民ホール

⑤入賞作品数 (190点)

【小学校】138点 (応募点数3,344点)

図画：最優秀1点 優秀2点 優良7点 佳作57点 (応募点数1,920点)

作文：最優秀1点 優秀2点 優良7点 (応募点数 258点)

詩：最優秀1点 優秀2点 優良6点 佳作51点 (応募点数1,166点)

【中学校】29点 (応募点数1,096点)

図画：最優秀1点 優秀2点 優良7点 (応募点数 197点)

作文：最優秀1点 優秀2点 優良6点 (応募点数 333点)

詩：最優秀1点 優秀2点 優良7点 (応募点数 566点)

【高等学校】24点 (応募点数167点)

図画：最優秀1点 優秀2点 優良7点 (応募点数 44点)

作文：最優秀1点 優秀1点 優良3点 (応募点数 14点)

詩：最優秀1点 優秀2点 優良6点 (応募点数 109点)





沖縄県平和祈念資料館での開会式(6月23日)



八重山平和祈念館の展示風景(7月14日)



沖縄県庁県民ホールでの表彰式(8月9日)



上原県副知事、金武県教育長と受賞者(8月9日)

## (2)親子ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧無料に合わせて沖縄戦関係のビデオ上映を行い、親子で平和について考える機会とする。

[日時] 平成22年5月5日(火) 午後2時～午後4時15分

[参加者数] 25名



## (3) 夏休み子ども向け企画

沖縄戦の歴史的教訓を正しく次の世代に伝えていくことが大きな課題となっている。夏休みの期間中に沖縄戦をはじめとして戦争や平和そして人権などについて考える機会となるよう、子ども向けの企画を実施し、自由研究などに主体的に取り組む子どもたちへの支援を行う。

### ① 夏休み自由研究相談室(情報ライブラリー)

自由研究の進め方や疑問点などについて、助言・解説する。2階常設展示室を調べて自由研究にまとめる場合は、観覧料を免除する。

[期間] 平成22年8月1日(日)～31日(火) 午前10時～午後5時

[参加者数] 10名

- ② 子ども自由研究教室（情報ライブラリー）  
戦争や平和に関する題材をわかりやすく提供して、理解と関心を深めさせる。  
「戦争中はどんな生活だったのかな？」

〔日時〕

平成22年8月14日（土）

午後1時30分～午後4時

〔参加者数〕15名



子ども自由研究教室の様子

- ③ アニメ上映会（平和祈念ホール）

アニメ作品等の鑑賞を通して、平和と人権について考える。

〔日時〕平成22年8月14日（土）・21日（土）午後2時～午後4時

〔参加者数〕延べ80名

- ④ 親子平和学習会

平和祈念資料館と平和祈念公園内にある戦跡や慰霊碑などを見学して沖縄戦について学習する。

〔日時〕平成22年8月7日（土）午前10時～正午

〔定員〕親子30人

（子どもだけの参加は不可）先着順とし定員に達し次第締め切る。

〔参加費〕無料

〔参加者数〕15名

## 2 教育機関との連携

### (1) 平和講話

設立理念にもある沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与するというを具体化したものに県内の小中高校特別支援学校に対する平和学習支援がある。平和学習等で常設展示を見学に来る児童生徒に対して観覧前にオリエンテーション的な平和講話を実施している。時間は40分～50分位で、内容は沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや沖縄戦の特徴、常設展示の見所や簡単な解説などである。現場の先生方からも好評で22年度の実績は次の通りとなっております。

〔平成22年度 平和講話実績〕

総計121校（11523人）

・小学校90校（7608人）

・中学校22校（3242人）

・高等学校7校（605人）

・特別支援学校2校（68人）

### (2) 博物館学芸員実習

当館では、県内外の大学の要望に応じて、当館学芸員の指導により学芸員資格取得のための学芸業務（資料収集・保存活動、展示活動、教育普及活動）全般に係わる研修を実施し、学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供した。

[期間]

平成22年8月5日（木）～8月13日（金）土日を除く

[内容]

- ① 資料整理・分類・登録
- ② 展示準備・企画展への参加
- ③ 野外実習（近隣の戦跡、類似館の見学）
- ④ 調査研究

[実習生]

沖縄国際大学3名



学芸員実習の総括発表

### 3 講座・講習会・研修会

#### (1) 沖縄戦講座

第11回企画展（開館10周年記念特別企画展）「沖縄のこころを世界へ」（平成22年10月10日～12月28日）の期間中に関連催事として沖縄戦講座を開催した。

[日時] 平成22年12月11日（土）午後2時～午後4時15分

[場所] 沖縄県平和祈念資料館 2階会議室

[演題] ～沖縄戦の実相・教訓・継承・発信～

[講師] 大城将保（元県立博物館館長、作家）

[内容]

琉球王国成立から、琉球処分、沖縄戦そして戦後復興、平和教育・戦跡保存などの県民運動、教科書問題等をたくさんの写真映像を使用しながら解説。沖縄戦の実相から得た教訓をきちんと継承し、沖縄から「平和のメッセージ」を世界へ発信していく必要性を強調した。

[受講者] 83名



沖縄戦講座の様子

#### (2) 沖縄県平和祈念資料館講習会

当館への案内業務に携わっている旅行・観光等の関係機関に携わる方々に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施した。

[日時]

平成23年2月17日（木）午後1時～午後4時

[場所]

沖縄県平和祈念資料館 2階会議室

[対象]

タクシー乗務員、観光バスガイド、平和ボランティア、観光関係者

[内容] 平和祈念公園及び資料館施設説明・展示内容・沖縄戦の特徴

[受講者] 30名



講習会受講の様子

### (3) 県立学校教諭の初任者研修

県立高校において本年度新採用された教諭を対象とする初任者研修。沖縄の歴史と文化をはじめ、沖縄戦の概要、資料館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、教育現場で大いに活用してもらうために沖縄県立総合教育センターが主催。当館は会場の提供と講師2名を派遣し、研修の充実に努めた。

[日時]平成22年8月16日(月) 午前9時半～午後4時

[場所]沖縄県平和祈念資料館 2階会議室

[受講者] 86名

### (4) 教職10年経験者企業研修

高校教諭経験期間が10年に達した者に対して、さらなる指導者の資質向上を目的とした研修「10年経験者研修」が教職員法定研修として位置づけられている。今回、糸満高校英語科の教諭2名が当館で研修を行った。沖縄県の平和行政を理解すると共に平和学習についてあらためて見識を深めた研修となった。



[日時]平成22年8月9日(月)～8月13日(金) 教職10年経験者研修類似館視察

[内容]当館の施設概要・展示について、類似館見学、戦績フィールドワーク、資料の整理作業、平和教育について

### (5) 島尻地区教職員10年経験者研修会(視察研修)

教諭、助教諭及び講師としての在職期間が在職期間が10年に達した者に対して、個々の能力、適性等に応じて研修を実施し、教諭等としての資質の向上を図ることを目的とした「10年経験者研修」がある。今回、島尻地区の10年目を迎える先生方が当館で研修を行った。参観だけでなく、当館の利用の仕方について講話を行った。

[日時]平成22年8月6日(金) 午前11時15分～午後12時15分

[参加人数] 島尻管内市町村指導主事含め43名

### (6) 沖縄県新規職員採用後後期研修者への講義

沖縄県の新規採用職員を対象に県職員としての教養や資質の向上のための、沖縄県自治研究所が主催する研修会。多くの県職員に対して当館の県立機関としての存在意義を広く周知するために新採用職員を対象に沖縄戦の概要や資料館の働き等について理解してもらう講義を提供した。

[日時]平成22年10月6日(水)・22日(金) 午前11時～正午

[場所] 沖縄県自治研究所

[受講者] 120名

### (7) 島尻地区小・中学校校長研修会(視察研修)

学校現場との連携は、当館にとって欠かすことのできないことである。今回、校長研修会視察研修として、当館の展示資料等を参観していただいた。展示解説を行いながら、当館の積極的な活用をよびかけた。

[日時]平成22年12月17日(金) 午後2時～午後3時半

[参加人数] 島尻地区小・中学校校長 50名

## VI 広報活動・出版等

### 1 県外修学旅行誘致活動

沖縄の修学旅行の魅力をもっとPRするとともに、相互の情報・意見等を交換する場として、沖縄県及び（財）沖縄観光コンベンションビューローが主催した県外各地での沖縄修学旅行説明会へ参加した。その中で、「沖縄で平和を考える」と題し、職員がプレゼンテーションを行った。また、県外旅行会社社員を招き沖縄県内で行われた、沖縄修学旅行現地視察研修会へも参加した。



説明会での様子

#### (1) 沖縄修学旅行説明会

##### (ア) 香川県【糸満主査参加】

[日程]平成22年11月25日(木) [参加団体数] 学校：9校、旅行社：10社

##### (イ) 岡山県【糸満主査参加】

[日程]平成22年11月26日(金) [参加団体数] 学校：11校、旅行社：15社

##### (ウ) 茨城県【伊良部主査、我那覇主任参加】

[日程]平成22年12月8日(水) [参加団体数] 学校：12校、旅行社：7社

##### (エ) 東京都【伊良部主査、我那覇主任参加】

[日程]平成22年12月9日(木) [参加団体数] 学校：41校、旅行社：35社

#### (2) 沖縄修学旅行現地視察研修会【我那覇主任参加】

[日程]平成23年1月18日(火) [参加団体数] 旅行社：51社

### 2 2010JICA 国際協力・交流フェスティバル

#### 「沖縄平和祈念資料館 事業展」＋写真展「カンボジアの歴史と文化」

沖縄から発信される国際協力・交流の成果を発表する場とし、国際協力(ODA)に対する沖縄県民の支持拡大を図る。

[日時] 平成22年11月13日(土)・14日(日) 午前9:00～午後6:00

[場所] JICA 沖縄国際センター本館2階(201室)

[観覧者数] 2,787人

[成果]

当館のブースでは沖縄戦を含め平和祈念資料館の事業概要及びカンボジアの歴史・文化の写真展を展示した。観覧者のアンケートからカンボジアの写真展への関心が高かった。

#### 展示会場の風景



### 3 刊行物

- 『沖縄県平和祈念資料館年報 第10号』  
平成21年度の当館事業の実績報告に係わる行政資料。入館者の概要事業内容や活動内容等をまとめる。A4版84頁、1,000部を6月に刊行。
- 「沖縄県平和祈念資料館だより」 NO.19、NO.20  
平成22年度の資料館事業報告や事業計画等について周知させる広報誌。  
A4版8頁、各2,500部を8月15日と3月25日に刊行。
- 『沖縄のこころを世界へ — 平和学習に役立つ資料集 — 』  
開館10周年記念特別企画展「沖縄のこころを世界へ」展の展示図録。  
A4版41頁、1,000部を10月10日に刊行。
- 『沖縄県平和祈念資料館《ジュニア版》ガイドブック』  
沖縄県平和祈念資料館の展示などについて子供向けに分かりやすく解説したガイドブック。
- 『第20回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書』  
第20回の児童・生徒の平和メッセージ展に係わる実績報告書。展示会の模様、募集要項、図画・作文・詩の最優秀・優秀作品入選作品等が掲載される。  
A4版62頁、1,000部を10月30日に刊行。



『沖縄県平和祈念資料館年報第10号』



「沖縄県平和祈念資料館だよりNO.19号」



『沖縄県平和祈念資料館《ジュニア版》ガイドブック』



『沖縄のこころを世界へ—平和学習に役立つ資料集』

## VII 開館 10 周年記念関連事業・企画

### 1 JICA 連携事業「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」

JICA が提供する草の根技術協力（地域提案型）事業。当館の設置理念に基づいた初の本格的な国際貢献事業で、カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館（TSGM）を対象に、平和構築（和解、信頼醸成）を提供する、いわゆる「平和博物館」活動（資料保存収集・展示・教育普及活動）のスキルを高める。

[期間]

平成 21 年度から平成 23 年度（3 カ年計画）

※平成 20 年 12 月に JICA によって事業採択がなされた。

[内容]

カンボジア側の博物館スタッフが毎年 3～4 名程度、1 ヶ月間当館において「平和博物館」に係わる研修を実施するもので、当館学芸員等が講師を務める。また、当館からは TSGM スタッフが作成したアクションプランの進捗状況の確認や指導を行うために毎年 2 週間程度、カンボジア現地もにおいて指導をする専門家を派遣する。

#### ○事前調査

[期間] 平成 21 年 5 月 19 日（火）～28 日（木）

[調査者] 大川芳子館長・園原謙学芸主幹（平和祈念資料館）、外間裕朋平和推進班長（県平和・男女共同参画課）／玉林洋介市民参加協力課長・角田和之主任（JICA 沖縄国際センター）

[訪問先] TSGM、カンボジア国文化芸術省、JICA カンボジア事務所、在カンボジア日本大使館、キリングフィールド、アンコール・ワット、カンボジア国立博物館、JICA タイ事務所

#### ○本研修（2 年間）

[期間] 平成 22 年 10 月 12 日（火）～11 月 5 日（金）

[研修者] Mr. CHEY Sophearum（教育普及担当）、Mr. NONG Sotha（資料担当）、Ms. PRAK Sothy（移動博物館担当）

[研修先] 当館、八重山平和祈念館、沖縄県立博物館・美術館、海洋博記念公園管理財団首里城管理センター、沖縄県公文書館、美ら海水族館、名護博物館、摩文仁一帯戦跡、沖縄県立糸満高等学校、沖縄県立八重山農林高等学校、糸満市立糸満中学校

#### ○フォローアップ研修（専門家派遣）

[期間] 平成 23 年 2 月 13 日（日）～27 日（日）

[研修指導者] 園原謙学芸主幹、糸満修学芸主査（平和祈念資料館）

[訪問先] TSGM、カンボジア国文化芸術省、JICA カンボジア事務所、在カンボジア日本大使館、カンボジア国立博物館、ユネスコプノンペン事務所、JICA タイ事務所、タイ国立博物館



開講式の様子



県立博物館・美術館の見学の様子



## 2 平和音楽祭 2010

開館 10 周年を記念し、戦争体験者が年々減少していく中で、平和学習の拠点施設として求心力を高め、館の設置理念に謳われる戦争を否定し、文化をこよなく愛する「沖縄のこころ」を広く内外に発信するために、県民参加型による平和音楽祭を開催し、平和文化を創造する契機を沖縄戦終焉の地・摩文仁から発信するために開催した。

10 月 10 日～12 月 18 日の土日曜日の午後 3 時～4 時の当館平和祈念ホールにおいて、延べ出演者 35 個人・団体 689 名が出演し、平和讃歌を摩文仁から発信した。入場者数は延べ 1,794 名を数えた。

### [運営]

社団法人対米請求権事業協会、沖縄平和祈念堂、糸満観光農園、当館の四者で平和文化の創造 IN 沖縄摩文仁実行委員会を組織し、企画、運営

### [日程・出演者]

- ①10 月 10 日 (日) 15:00～16:00 宮永英・太鼓コンサート
- ②10 月 16 日 (土) 15:00～16:00 大城友弥 コンサート
- ③10 月 23 日 (土) 15:00～16:00 嘉数明美・桜沢有理 朗読とピアノ
- ④10 月 24 日 (日) 15:00～16:00 フォーシスターズ 琉球民謡コンサート
- ⑤10 月 30 日 (土) 15:00～16:00 ウイングスなんじょう 合唱コンサート
- ⑥10 月 31 日 (日) 15:00～16:00 くがに合唱団 合唱コンサート
- ⑦11 月 6 日 (土) 15:00～16:00 北谷町少年少女合唱団・沖縄市児童合唱団 合唱コンサート
- ⑧11 月 7 日 (日) 15:00～16:00 名護少年少女合唱団・那覇少年少女合唱団 合唱コンサート
- ⑨11 月 13 日 (土) 15:00～16:00 うるま市少年少女合唱団・南風原少年少女合唱団・糸満少年少女合唱団 合唱コンサート
- ⑩11 月 14 日 (日) 14:30～16:00 辻老人憩の家オニオンコーラス・小禄老人福祉センターコーラス・壺川シルバー女声コーラス
- ⑪11 月 20 日 (土) 15:00～16:00 ひばりが丘女声コーラス・女声合唱団「スウィング首里」
- ⑫11 月 21 日 (日) 15:00～16:00 女声合唱団「ちゃたん」
- ⑬11 月 23 日 (火) 13:30～14:30 県立芸術大学音楽学部器楽専攻コンサート
- ⑭11 月 23 日 (火) 15:30～16:30 県立芸術大学音楽学部琉球芸能専攻コンサート
- ⑮11 月 27 日 (土) 15:00～16:00 女声合唱団「星砂」 合唱コンサート
- ⑯11 月 28 日 (日) 15:00～16:00 小禄女声コーラス「みなみ」・「コール・リリー」八重瀬 合唱コンサート
- ⑰12 月 4 日 (土) 13:30～14:30 県立芸術大学音楽学部器楽ピアノ・声楽専攻コンサート
- ⑱12 月 4 日 (土) 15:30～16:30 県立芸術大学音楽学部琉球芸能専攻コンサート
- ⑲12 月 12 日 (日) 13:30～15:30 アイモコ・アイタカ・東風平高根・猿笑コンサート
- ⑳12 月 18 日 (土) 15:00～16:00 沖縄三育中学校・広島三育高校聖歌隊・ハンドベルクワイヤー





### 3 『NAHAマラソンの道』～走る道、逃げる道～展

沖縄の一大スポーツイベント「NAHAマラソン」。そのコースは那覇及び南部一帯。ジョガーのみなさんがひたすらゴールをめざし「走る道」は、65年前の沖縄戦当時、避難民と敗走する日本兵が入り乱れる戦場と化し、猛烈な砲爆撃に晒されながら人々が「逃げる道」であった。今回「走る道」に間宮健二氏のスケッチを用い、NAHAマラソンコースを色鮮やかに表現し、一方「逃げる道」を沖縄戦の写真や証言、絵によって伝え、現在と過去を対比させる展示を行うことで、平和の尊さについて考える機会とした。

【期間】平成22年12月1日（水）～12月15日（水）

【場所】「走る道」会場：当館2階 臨時展示室（喫茶室）

「逃げる道」会場：当館2階 ギャラリー

【協力】間宮健二氏、NAHAマラソン協会事務局



### 4 台湾国立台東美術館交流事業

台東生活美学館緑島人權文化園區と沖縄県平和祈念資料館は、共に戦争、平和、人権を主題にした平和資料館である。歴史の反省を通じて、人権及び平和の普遍的価値を次世代へ継承し、平和を発信することは大切である。次の世代を担う両国の子供たちが平和への願いをこめて作成した図画や詩の優秀作品を展示し、隣国との相互理解の促進、人権や平和についての意識の高揚、平和を創造する国際文化交流の機会とした。

【名称】子ども・未来・メッセージ展（台湾、沖縄、平和資料館交流事業）

【期間】平成23年3月16日（水）～4月17日（日）

【場所】沖縄県平和祈念資料館企画展示室

【展示内容】台湾と沖縄県の小・中・高校生が平和や人権についてメッセージをこめて作成した図画及び詩。



### 5 収蔵品整理事業

平和祈念資料館が収蔵する（展示資料・図書資料含む）沖縄戦の実物資料、歴史資料並びに新聞資料など関連資料約4万点のうち、平成18年から4カ年間で約7千点を整理してきたが、なお3.3万点が未整理である。戦後65年目で、開館10年目を迎えるにあたり、戦争の実相を語る資料は稀少であり、その整備は急務である。当館設立理念に基づき、平和意識啓発を図る上で、資料を通しての県民サービス向上を図る。県雇用労政課が所管する緊急雇用創出事業（臨時特例基金事業）を活用し、未整理分の資料を1年当たり5名を雇用し、22年度・23年度の2カ年間で集中的に整理し、目録を作成し、広く県民の利用に供する。

## 収藏品等整理事業の作業工程



## 6 平和文化の推進事業（貸出キット制作）

当館の設立理念「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことに基づき、戦争体験者が減少する中で、戦争体験を確実に継承し、平和を求め、文化を愛する「沖縄のこころ」の意識啓発を行うために、平和教育で活用できる「貸し出しキット」を制作した。

[内容]

キット名	テーマ	キットの内容
A	戦争と暮らし	複製資料、パネル（写真・文書・新聞記事・地図・グラフ）、沖縄戦体験者の証言等をテーマ別に選択し、Aは18点、Bは20点の資料で構成
B	沖縄戦の記憶	
C	沖縄戦記録写真	米軍記録写真パネル（A 2判30枚）
D	みんななかよく	絵本・紙芝居

※A・B・Cは小学校以上、Dは幼児～小学校低学年が対象

## 7 平和教育の公開授業・フォーラム

戦後 65 年を経過した現在、この歴史的事実を風化させることなく次の世代に正しく継承していくことが益々重要となっている。そこで、これからの平和教育のあり方を考える機会とするため 平和教育の公開授業とフォーラムを当館が初めて開催した。

[期日] 平成 22 年 6 月 5 日 (土) 午後 1 時～午後 4 時 40 分

[場所] 当館 2 階大会議室

[対象] 県内教育関係者ならびに一般県民

[主催者等]

主 催: 沖縄県平和祈念資料館

共 催: 中頭地区小学校社会科教育研究会

中頭地区小学校国語科教育研究会

名桜大学教員養成支援センター

協力校: 沖縄市立諸見小学校

後 援: 沖縄県教育委員会

[参加者] 150 名



## 8 ピース・メモリアルグッズ (PMG) 開発事業

当資料館のミュージアムショップは、平成 19 年 6 月に開設され、資料館ならではのオリジナル商品を求める声があり、開館 10 周年記念事業として、オリジナル商品の開発を行う「ピースメモリアルグッズ (PMG) 開発事業」に取り組むことになった。

この事業は、国の緊急雇用創出事業を活用し、平成 22 年度から 2 カ年計画で、民間に委託して実施しており、「協同組合沖縄産業計画と (株) 海人工房」が合同で、新規に 6 名を雇用し、沖縄県 PMG プロジェクトとして取り組んでいる。

1 年目の事業のまとめとして平成 23 年 3 月 14 日 (月) ～5 月 14 日 (土) までの日程でグッズ成果発表会を行った。

[主な経過]

平成 22 年 6 月 4 日 (金) 事業説明会 (19 組参加)

6 月 17 日 (木) 企画コンペ第 1 次審査 (書類審査/10 組参加)

6 月 21 日 (月) 企画コンペ (6 組・JV 参加)

7 月 15 日 (木) 契約 (沖縄産業プラス海人工房コンソーシアム)

契約金額 ¥19,914,300 円

7 月 26 日 (月) 新規雇用者 (6 名) 勤務開始

事務所名 「沖縄県 PMG プロジェクト」

9 月 13 日 (月) 県外ショップ調査

～ 17 日 (金)

11 月 17 日 (水) 工程会議スタート (隔週水曜日 10 時 30 分～)

平成 23 年 3 月 14 日 (月) 成果発表会 (オリジナルグッズの発表)

～ 5 月 13 日まで



テープカットの様子



スタッフによる商品説明

## 9 詩集『写真の中の少年』編集・発行

本年度で第20回を数える学校連携事業の大きな事業に児童・生徒の平和メッセージ事業がある。

沖縄県内の児童・生徒を対象に図画、作文、詩を募集するもので、優秀作品を選定し展示を行っている。

今回、東京の駒草出版の協力で、過去20回の詩作の中から筆者本人の了解を得て、最優秀作品など32編を一冊にまとめることができた。沖縄の子どもたちの沖縄戦に対する学習や祖父母の重い体験を共感する心など、純粋に平和を愛する「沖縄のこころ」が散らばれる珠玉の詩集に仕上がった。加えて、それぞれの筆者の現在の思いや感想も収録できた。それぞれの年齢や体験を重ねた現在の平和への思いも垣間見ることができる。



## VII 入館者状況

### 1 月別入館者数

年月	個人入館者数			団体入館者数			入館者総数			開館日数	一日平均入館者数
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計		
2009年4月	6,718 (295)	978 (12)	7,696 (307)	3,803 (533)	19,370 (4,104)	23,173 (4,637)	10,521 (828)	20,348 (4,116)	30,869 (4,944)	30	1,029
2009年5月	7,669 (279)	1,017 (100)	8,686 (379)	4,168 (390)	35,565 (4,735)	39,733 (5,125)	11,837 (669)	36,582 (4,835)	48,419 (5,504)	31	1,562
2009年6月	8,835 (2,629)	3,686 (3,090)	12,521 (5,719)	3,386 (486)	18,261 (6,105)	21,647 (6,591)	12,221 (3,115)	21,947 (9,195)	34,168 (12,310)	30	1,139
2009年7月	7,402 (269)	1,500 (18)	8,902 (287)	1,071 (95)	3,878 (1,193)	4,949 (1,288)	8,473 (364)	5,378 (1,211)	13,851 (1,575)	28	495
2009年8月	11,247 (490)	4,493 (32)	15,740 (522)	1,255 (278)	1,917 (17)	3,172 (295)	12,502 (768)	6,410 (49)	18,912 (817)	30	630
2009年9月	8,015 (186)	1,208 (19)	9,223 (205)	1,643 (73)	9,038 (806)	10,681 (879)	9,658 (259)	10,246 (825)	19,904 (1084)	30	663
2009年10月	6,477 (231)	750 (21)	7,227 (252)	5,317 (144)	48,027 (665)	53,344 (809)	11,794 (375)	48,777 (686)	60,571 (1,061)	31	1,954
2009年11月	6,591 (239)	615 (8)	7,206 (247)	4,684 (223)	42,488 (2,574)	47,172 (2,797)	11,275 (462)	43,103 (2,582)	54,378 (3,044)	30	1,813
2009年12月	4,702 (318)	804 (116)	5,506 (434)	3,436 (228)	41,755 (1,431)	45,191 (1,659)	8,138 (546)	42,559 (1,547)	50,697 (2,093)	28	1,811
2010年1月	5,926 (239)	749 (11)	6,675 (250)	1,932 (111)	11,867 (131)	13,799 (242)	7,858 (350)	12,616 (142)	20,474 (492)	28	731
2010年2月	6,204 (227)	625 (9)	6,829 (236)	2,153 (125)	15,001 (292)	17,154 (417)	8,357 (352)	15,626 (301)	23,983 (653)	28	857
2010年3月	7,060 (320)	2,122 (19)	9,182 (339)	1,633 (28)	9,189 (48)	10,822 (76)	8,693 (348)	11,311 (67)	20,004 (415)	31	645
合計	86,846 (5,722)	18,547 (3,455)	105,393 (9,177)	34,481 (2,714)	256,356 (22,101)	290,837 (24,815)	121,327 (8,436)	274,903 (25,556)	396,230 (33,992)	355	1,116

( ) は内数で無料入場者数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧											開館 日数	平均	
	観覧券種別					出身別					計			観覧者 総数
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	外国	県内	県外	外国	計					
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	3,590	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552	
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	4,293	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074	
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	3,971	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206	
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	3,031	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284	
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	4,014	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263	
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	3,429	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325	
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	4,122	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253	
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	4,937	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228	
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	4,039	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207	
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	6,444	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135	
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	6,811	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116	
累計									4,132,931	406,542	4,539,473	3,670	1,237	

参考  
慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数
2000年度	4,966
2001年度	3,157
2002年度	4,750
2003年度	4,259
2004年度	4,849
2005年度	3,815
2006年度	2,813
2007年度	3,785
2008年度	4,257
2009年度	4,649
2009年度	5,479
合計	46,779

3 月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況

月	児童・生徒・学生										少年の船・青年の船等				合計	
	県内					県外					県内・県外総計					
	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学		計
4月	20 (19)	3 (3)	4 (3)	0 (0)	27 (25)	4 (0)	112 (0)	32 (0)	3 (0)	151 (0)	24 (19)	115 (3)	36 (3)	3 (0)	178 (25)	15 (12)
人数	1,968 (1,945)	725 (725)	910 (883)	0 (0)	3,603 (3,553)	170 (0)	10,635 (0)	4,166 (0)	144 (0)	15,115 (0)	2,138 (1,945)	11,360 (725)	5,076 (883)	144 (0)	18,718 (3,553)	539 (551)
5月	33 (32)	6 (4)	3 (2)	0 (0)	42 (38)	4 (0)	222 (0)	23 (0)	0 (0)	249 (0)	37 (32)	228 (4)	26 (2)	0 (0)	291 (38)	17 (16)
人数	3,151 (3,119)	1,125 (911)	403 (345)	0 (0)	4,679 (4,375)	268 (0)	27,028 (0)	3,168 (0)	0 (0)	30,464 (0)	3,419 (3,119)	28,153 (911)	3,571 (345)	0 (0)	35,143 (4,375)	422 (360)
6月	46 (45)	15 (14)	7 (7)	1 (0)	69 (66)	11 (0)	31 (0)	50 (0)	1 (0)	93 (0)	57 (45)	46 (14)	57 (7)	2 (0)	162 (66)	7 (6)
人数	3,033 (2,985)	2,291 (2,268)	696 (696)	19 (0)	6,039 (5,949)	320 (0)	4,028 (0)	7,602 (0)	33 (0)	11,983 (0)	3,353 (2,985)	6,319 (2,268)	8,298 (696)	52 (0)	18,022 (5,949)	197 (156)
7月	11 (8)	3 (3)	1 (1)	1 (0)	16 (12)	3 (0)	3 (0)	15 (0)	2 (0)	23 (0)	14 (8)	6 (3)	16 (1)	3 (0)	39 (12)	9 (2)
人数	766 (683)	443 (443)	18 (18)	26 (0)	1,253 (1,144)	106 (0)	349 (0)	1,703 (0)	114 (0)	2,272 (0)	872 (683)	792 (443)	1,721 (18)	140 (0)	3,525 (1,144)	353 (49)
8月	4 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (1)	3 (0)	3 (0)	15 (0)	2 (0)	23 (0)	7 (0)	4 (1)	15 (0)	2 (0)	28 (1)	18 (0)
人数	128 (0)	17 (17)	0 (0)	0 (0)	145 (17)	56 (0)	79 (0)	395 (0)	48 (0)	578 (0)	184 (0)	96 (17)	395 (0)	48 (0)	723 (17)	1,086 (0)
9月	11 (7)	2 (2)	1 (1)	1 (0)	15 (10)	1 (0)	6 (0)	41 (0)	5 (0)	53 (0)	12 (7)	8 (2)	42 (1)	6 (0)	68 (10)	2 (1)
人数	440 (247)	313 (313)	215 (215)	119 (0)	1,087 (775)	31 (0)	430 (0)	7,272 (0)	142 (0)	7,875 (0)	471 (247)	743 (313)	7,487 (215)	261 (0)	8,962 (775)	76 (31)
10月	11 (10)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	12 (11)	3 (0)	15 (0)	261 (0)	3 (0)	282 (0)	14 (10)	15 (0)	262 (1)	3 (0)	294 (11)	5 (5)
人数	564 (528)	0 (0)	82 (82)	0 (0)	646 (610)	182 (0)	1,399 (0)	45,552 (0)	146 (0)	47,279 (0)	746 (528)	1,399 (0)	45,634 (82)	146 (0)	47,925 (610)	102 (55)
11月	40 (40)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	44 (44)	0 (0)	20 (1)	213 (0)	0 (0)	233 (0)	40 (40)	23 (4)	214 (0)	0 (0)	277 (45)	5 (2)
人数	2,220 (2,220)	277 (277)	41 (41)	0 (0)	2,538 (2,538)	3 (0)	1,494 (1)	38,284 (0)	0 (0)	39,781 (0)	2,223 (2,220)	1,771 (278)	38,325 (41)	0 (0)	42,319 (2,539)	169 (35)
12月	22 (22)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	3 (0)	40 (0)	224 (0)	2 (0)	269 (0)	25 (22)	41 (1)	224 (0)	2 (0)	292 (23)	10 (9)
人数	1,132 (1,132)	31 (31)	0 (0)	0 (0)	1,163 (1,163)	114 (0)	3,422 (0)	36,646 (0)	97 (0)	40,279 (0)	1,246 (1,132)	3,453 (31)	36,646 (0)	97 (0)	41,442 (1,163)	313 (268)
1月	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	3 (0)	13 (0)	62 (0)	1 (0)	79 (0)	6 (3)	13 (0)	62 (0)	1 (0)	82 (3)	1 (0)
人数	131 (131)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	131 (131)	70 (0)	1,051 (0)	10,459 (0)	39 (0)	11,619 (0)	201 (131)	1,051 (0)	10,459 (0)	39 (0)	11,750 (131)	30 (0)
2月	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	27 (0)	65 (0)	5 (0)	99 (0)	2 (0)	27 (0)	66 (1)	5 (0)	100 (1)	6 (4)
人数	2 (0)	0 (0)	189 (189)	0 (0)	191 (189)	146 (0)	2,726 (0)	11,531 (0)	157 (0)	14,560 (0)	148 (0)	2,726 (0)	11,720 (189)	157 (0)	14,751 (189)	232 (103)
3月	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	7 (0)	51 (0)	3 (0)	61 (0)	3 (1)	7 (0)	51 (0)	3 (0)	64 (1)	8 (2)
人数	123 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	123 (5)	0 (0)	543 (0)	8,015 (0)	219 (0)	8,777 (0)	123 (5)	543 (0)	8,015 (0)	219 (0)	8,900 (5)	289 (48)
人数	204 (187)	34 (31)	19 (17)	3 (0)	260 (235)	37 (0)	499 (1)	1,052 (0)	27 (0)	1,615 (1)	241 (187)	533 (32)	1,071 (17)	30 (0)	1,875 (236)	103 (58)
合計	13,658 (12,995)	5,222 (4,985)	2,554 (2,469)	164 (0)	21,598 (20,449)	1,466 (0)	53,184 (1)	174,793 (0)	1,139 (0)	230,582 (1)	15,124 (12,995)	58,406 (4,986)	177,347 (2,469)	1,303 (0)	252,180 (20,450)	3,808 (1,651)

( ) は内数で無料入館者数

#### 4 市町村別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	大人	団体数	人数
1 那覇市	31	3,123	4	858	4	325	0	0	39	4,306	24	1,658	63	5,964
2 うるま市	12	1,070	5	755	0	0	0	0	17	1,825	8	384	25	2,209
3 宜野湾市	5	557	4	350	0	0	2	145	11	1,052	3	237	14	1,289
4 宮古島市	16	609	0	0	0	0	0	0	16	609	0	62	16	671
5 石垣市	15	520	0	0	0	0	0	0	15	520	1	60	16	580
6 浦添市	8	978	3	814	1	264	0	0	12	2,056	10	881	22	2,937
7 名護市	13	677	2	114	0	0	0	0	15	791	3	157	18	948
8 糸満市	9	679	5	543	1	215	0	0	15	1,437	4	431	19	1,868
9 沖繩市	8	705	3	668	2	375	0	0	13	1,748	8	513	21	2,261
10 豊見城市	8	963	0	0	0	0	0	0	8	963	6	240	14	1,203
11 南城市	8	458	2	295	0	0	0	0	10	753	2	110	12	863
12 国頭村	3	52	0	0	0	0	0	0	3	52	2	35	5	87
13 大宜味村	2	20	0	0	1	41	0	0	3	61	0	12	3	73
14 東村	1	11	0	4	0	0	0	0	1	15	2	36	3	51
15 今帰仁村	3	79	0	0	0	0	0	0	3	79	1	33	4	112
16 本部町	3	107	0	0	0	0	0	0	3	107	0	12	3	119
17 恩納村	3	70	1	40	0	0	0	0	4	110	4	239	8	349
18 宜野座村	2	50	0	0	1	25	0	0	3	75	0	9	3	84
19 金武町	2	50	0	0	0	0	0	0	2	50	2	64	4	114
20 伊江村	1	22	0	0	0	0	0	0	1	22	0	3	1	25
21 読谷村	6	421	0	0	2	347	0	0	8	768	0	53	8	821
22 嘉手納町	7	411	2	217	1	58	0	0	10	686	20	747	30	1,433
23 北谷町	2	159	0	0	1	280	0	0	3	439	3	143	6	582
24 北中城村	2	185	1	177	1	283	0	0	4	645	0	28	4	673
25 中城村	2	111	0	0	0	0	0	0	2	111	2	57	4	168
26 西原町	2	224	1	196	3	310	1	19	7	749	1	59	8	808
27 八重瀬町	4	378	0	0	0	0	0	0	4	378	9	489	13	867
28 与那原町	3	269	0	0	0	0	0	0	3	269	1	50	4	319
29 南風原町	5	417	1	190	1	31	0	0	7	638	5	182	12	820
30 久米島町	5	105	0	0	0	0	0	0	5	105	0	18	5	123
31 渡嘉敷村	1	21	0	0	0	0	0	0	1	21	0	6	1	27
32 座間味村	1	8	0	0	0	0	0	0	1	8	0	2	1	10
33 粟国村	1	15	0	0	0	0	0	0	1	15	0	6	1	21
34 渡名喜村	1	7	0	0	0	0	0	0	1	7	0	1	1	8
35 南大東村	1	14	0	0	0	0	0	0	1	14	0	2	1	16
36 北大東村	1	15	0	0	0	0	0	0	1	15	0	3	1	18
37 伊平屋村	1	15	0	0	0	0	0	0	1	15	0	4	1	19
38 伊是名村	1	19	0	0	0	0	0	0	1	19	0	3	1	22
39 多良間村	1	24	0	0	0	0	0	0	1	24	0	3	1	27
40 竹富町	3	28	0	1	0	0	0	0	3	29	3	18	6	47
41 与那国町	1	12	0	0	0	0	0	0	1	12	1	6	2	18
合計	204	13,658	34	5,222	19	2,554	3	164	260	21,598	125	7,056	385	28,654

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。



5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	大人	団体数	人数
1 北海道	2	76	0	0	18	2,580	4	167	24	2,823	19	764	43	3,587
2 青森県	0	0	0	0	8	729	0	0	8	729	4	138	12	867
3 岩手県	1	3	2	59	7	697	0	0	10	759	5	236	15	995
4 宮城県	0	3	2	38	19	1,774	0	0	21	1,815	6	339	27	2,154
5 秋田県	0	0	1	210	1	19	0	0	2	229	1	54	3	283
6 山形県	0	0	6	664	8	818	0	0	14	1,482	4	254	18	1,736
7 福島県	3	124	2	49	30	4,285	0	0	35	4,458	2	300	37	4,758
8 茨城県	0	0	1	158	44	8,098	0	0	45	8,256	5	643	50	8,899
9 栃木県	0	0	0	0	51	9,429	0	0	51	9,429	5	716	56	10,145
10 群馬県	0	0	0	0	27	3,861	1	45	28	3,906	7	498	35	4,404
11 埼玉県	1	18	0	0	76	17,351	4	167	81	17,536	15	1,470	96	19,006
12 千葉県	0	0	0	0	72	15,014	1	62	73	15,076	11	1,093	84	16,169
13 東京都	3	119	14	1,601	194	34,464	6	179	217	36,363	83	5,706	300	42,069
14 神奈川県	2	46	2	186	96	17,713	2	77	102	18,022	19	1,458	121	19,480
15 新潟県	0	0	1	120	16	2,279	0	0	17	2,399	7	318	24	2,717
16 富山県	0	0	4	432	2	117	0	0	6	549	5	193	11	742
17 石川県	0	0	2	93	7	669	0	0	9	762	1	66	10	828
18 福井県	0	0	0	0	5	554	0	0	5	554	1	116	6	670
19 山梨県	0	0	1	32	19	3,508	0	0	20	3,540	3	363	23	3,903
20 長野県	0	0	0	0	48	7,650	0	0	48	7,650	3	457	51	8,107
21 岐阜県	0	3	2	178	49	7,967	0	0	51	8,148	8	733	59	8,881
22 静岡県	1	2	2	166	70	9,418	0	0	73	9,586	7	868	80	10,454
23 愛知県	0	0	7	1,047	63	10,260	3	159	73	11,466	11	942	84	12,408
24 三重県	0	0	14	1,309	20	3,275	0	0	34	4,584	5	501	39	5,085
25 滋賀県	0	0	17	2,141	4	514	0	0	21	2,655	8	435	29	3,090
26 京都府	2	70	19	2,302	14	1,776	0	0	35	4,148	4	407	39	4,555
27 大阪府	1	82	82	11,544	17	2,525	3	135	103	14,286	18	1,696	121	15,982
28 兵庫県	1	63	50	6,598	15	2,351	0	0	66	9,012	10	990	76	10,002
29 奈良県	0	0	24	2,868	2	160	0	0	26	3,028	6	699	32	3,727
30 和歌山県	0	0	6	366	3	854	0	0	9	1,220	3	175	12	1,395
31 鳥取県	1	21	5	489	1	185	0	0	7	695	2	112	9	807
32 島根県	0	0	6	298	0	0	0	0	6	298	2	91	8	389
33 岡山県	0	0	62	5,879	5	160	0	0	67	6,039	9	917	76	6,956
34 広島県	2	111	28	1,924	9	883	0	0	39	2,918	12	834	51	3,752
35 山口県	0	0	3	150	4	370	0	0	7	520	1	61	8	581
36 徳島県	0	0	12	768	0	0	0	0	12	768	3	194	15	962
37 香川県	0	4	23	3,006	2	338	0	0	25	3,348	9	508	34	3,856
38 愛媛県	0	0	0	0	5	196	0	0	5	196	6	258	11	454
39 高知県	2	63	21	1,647	0	0	0	0	23	1,710	4	245	27	1,955
40 福岡県	2	113	18	1,733	9	936	1	28	30	2,810	27	2,005	57	4,815
41 佐賀県	1	58	15	1,351	0	0	1	39	17	1,448	5	293	22	1,741
42 長崎県	0	0	2	179	3	316	0	0	5	495	6	222	11	717
43 熊本県	0	0	32	2,809	1	197	0	0	33	3,006	1	256	34	3,262
44 大分県	0	0	3	228	3	84	1	81	7	393	2	118	9	511
45 宮崎県	1	30	7	525	5	419	0	0	13	974	4	206	17	1,180
46 鹿児島県	11	457	1	37	0	0	0	0	12	494	4	177	16	671
合計	37	1,466	499	53,184	1,052	174,793	27	1,139	1,615	230,582	383	29,125	1,998	259,707
47 沖縄県	204	13,658	34	5,222	19	2,554	3	164	260	21,598	125	7,056	385	28,654

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

## Ⅷ 八重山平和祈念館

### 1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成をめざす。

#### (1) 設立経過

1989(平成元)年

5月28日 戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者援護会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。

10月16日 沖縄県議会(9月定例会)において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」を決議される。

1995(平成7)年

12月25日 平成8年度国庫予算において、事務次官折衝の中でマラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。  
慰藉事業の内訳は、次のとおりである。

- ① 慰霊碑建立
- ② 八重山平和祈念館建設
- ③ マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂『悲しみをのり越えて』発行等
- ④ マラリア死没者慰藉のための追悼式

1997(平成9)年

3月31日 八重山平和祈念館竣工

1998(平成10)年

1月～ 八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催(3月まで)

5月 八重山平和祈念館基本計画策定

11月～ 八重山平和祈念館監修委員会開催(平成11年2月まで)  
八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注(平成11年3月まで)

1999(平成11)年

3月 「沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」議決・公布

「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。

5月28日 八重山平和祈念館開館式

5月29日 八重山平和祈念館一般公開

#### (2) 施設の概要

① 総面積：520㎡

② 各室面積

第1展示室：130㎡

第2展示室：120㎡

保 管 室：20㎡  
会 議 室：72㎡  
事 務 室：5～6人規模

(3)開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

(4)休館日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は開館)及び年末年始の12月29日から1月3日まで

(5)観覧料

大人 100円 団体(20名以上)70円 小人 50円 団体 35円

(6)展示構成

- ① アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ② 沖縄戦と八重山
- ③ 戦争マラリアの悲劇
- ④ マラリア根絶に向かって
- ⑤ 戦争マラリア援護会の活動
- ⑥ 八重山地域における平和発信拠点を目指して

(7) 展示物の内容

- ① 写真、地図、絵のパネル等
- ② 図画、作文
- ③ 戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ④ 遺品類(ハガキ、キセル等)
- ⑤ 八重山保健所資料(当時の顕微鏡等)
- ⑥ 高熱に苦しむ母子像(マラリア患者の看病の様子)



八重山平和祈念館外観



### 3 事業概要

#### (1) 展示活動

##### ① 企画展「戦跡からみる八重山の戦争」展

6月の平和月間に合わせ、八重山の戦跡地について紹介する企画展を開催する。

八重山地域各部落の歴史や戦跡・慰霊碑等の実情を知り、平和の尊さについて考える機会とする。

[期間] 平成22年6月1日(火)～7月4日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] ア 石垣島の戦跡地

イ 石垣島の慰霊碑・塔

ウ 離島の戦跡地

エ 離島の慰霊碑・塔

オ 戦争マラリアに関する戦跡地

カ 忠魂碑

キ 平和の発信地として

[入場者] 1,884名



観覧風景

##### ② 人権企画展「わたしたちの人権～平和な世界に向かって」

人権問題や世界平和など、視野を広げたテーマで平和の尊さ・人権の大切さ等について考える機会とする。

[期間] 平成22年9月17日(金)～10月17日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] ア 子どもの人権とは(ユニセフ資料より)

イ 7人の偉人から人権を考える

ウ クイズで学ぶ! いま世界で起きていること

[入場者] 177名



観覧風景

##### ③ 写真展「カンボジアの歴史と文化」展

平和祈念資料館・JICA沖縄による「平和博物館協」事業の研修カリキュラムの一環として開催する。

[期間] 平成22年10月21日(木)～10月29日(金)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 253名

#### ④平成22年開館10周年記念特別企画展「沖縄のこころを世界へ」

(本館の移動展を兼ねる)

本館10周年のあゆみを振り返るとともに、新たな10年に向けての館の活動を展望する機会とする。あわせて資料館及び八重山分館の収蔵品の中から戦前～戦後にかけての「平和学習に役立つ資料」を紹介し、平和の尊さについて考える機会とする。

[期間] 平成23年1月19日(水)～2月26日(土)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] 第1部 平和祈念資料館のあゆみ

第2部 資料が語る「戦争」

第3部 平和を創造する

八重山会場企画 「昔の遊び・凧づくり体験コーナー」

[入場者] 253名



観覧風景

## (2)平和教育活動

### ①ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧無料期間に合わせ、沖縄戦関係のビデオ上映を行い、平和について考える機会とする。

[日時] 平成22年5月4日(火) 午前10時(ドキュメンタリー)、午後2時(アニメ)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 20名

### ②慰霊の日 アニメ上映会

6月23日「慰霊の日」に併せ、アニメ『石の声ー沖縄戦マラリア地獄の記憶ー』を上映し、八重山で起こった「戦争マラリア」を知り、平和を希求する心を育てる機会とする。

[日時] 平成22年6月23日(水) 午後2時

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 95名

### ③第20回 児童・生徒の平和メッセージ展

本館が主催、募集した、児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の優秀作品を展示し、「児童・生徒の平和メッセージ」を発信する機会とする。

[日時] 平成22年7月14日(水)～28日(水)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 168名



開会式の様子

#### ④夏休み 平和学習会

「夏休み自由研究相談室と体験学習コーナー  
及びビデオ上映会」

夏休みの平和学習の場として、自由研究などに主体的に取り組む児童生徒への支援を行う。また参加型の体験学習コーナー及びビデオ上映コーナーを設置し、戦争マラリアや平和について考える機会とする。

[期間] 平成22年7月21日(水)～8月31日(火)

[場所] 八重山平和祈念館

[内容] ア 平和に関する自由研究について、  
テーマの決め方や資料の利用方法、まとめ方などを助言する。  
イ 戦争マラリアや平和について考える体験コーナーの設置  
①平和のちぎり絵を作ろう  
②世界のマラリアについて学ぼう  
ウ 子ども向けアニメなどのビデオ上映会

[入場者] 154名



平和のちぎり絵を作成した子どもたち

### (3) 調査研究活動

#### ①戦跡地調査・聞き取り調査

企画展やその他館の参考資料充実を図るため、戦跡地調査、資料収集や体験者への聞き取り調査等を実施する。

[内容] ア 戦跡及び慰霊碑視察・調査(4月19日) 石垣市内: 9カ所

イ 戦争マラリア避難地・白水調査(6月21日) 場所: 名蔵～白水

案内: 潮平正道氏

ウ 埋蔵文化財センター 戦争遺跡詳細確認調査同行(9月2日, 24日)

石垣市内: 7カ所

#### ②戦争体験証言収録事業(本館)

沖縄戦の戦争体験記録を体系化するため、地域ごとに異なる体験をきめ細やかに拾い集める。

[内容] 八重山地域の戦争体験者13名を対象に証言収録を行う。

[日時] 平成22年11月2日(火)～5日(金)

#### ③戦争マラリア避難所めぐり(戦争マラリア遺族会協力)

戦争マラリア避難地を遺族・親族らと訪し、実際の避難生活体験者の証言とともに当時の状況を知る。

[日時] 平成22年8月29日(日)

[内容] 当時の平得・真栄里部落の避難地(計11カ所)をめぐる。

[参加者] 27名



避難所めぐりの様子

#### (4) 県内学校の対応について

##### ① 学校教員向け見学説明会

学校で平和学習が活発に行われる6月を前に、学校教員を対象に、館内の展示解説、利用や活用方法等を説明し、学校の利用促進を図る。

[日時]平成22年5月13日(木)、18日(火)

[場所]八重山平和祈念館

[参加者]9名



月別入館者数 平成22年度 八重山平和祈念館

	常設展示室											第2展示室 企画展等 入館者数 ※入場無料
	個人入館者数			団体入館者数			入館者総数			合計		
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2010年 4月	94 (10)	15 (7)	109 (17)	14 (7)	71 (0)	85 (7)	108 (17)	86 (7)	194 (24)			
2010年 5月	111 (15)	36 (33)	147 (48)	26 (26)	10 (10)	36 (36)	137 (41)	46 (43)	183 (84)	20		
2010年 6月	395 (325)	15 (13)	410 (338)	141 (141)	990 (990)	1,131 (1,131)	536 (466)	1,005 (1,003)	1,541 (1,469)	1,703		
2010年 7月	123 (44)	68 (63)	191 (107)	60 (6)	94 (68)	154 (74)	183 (50)	162 (131)	345 (181)	365		
2010年 8月	133 (29)	93 (4)	226 (33)	22 (22)	68 (68)	90 (90)	155 (51)	161 (72)	316 (123)	72		
2010年 9月	99 (12)	7 (2)	106 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	99 (12)	7 (2)	106 (14)	57		
2010年 10月	91 (10)	19 (18)	110 (28)	8 (5)	133 (85)	141 (90)	99 (15)	152 (103)	251 (118)	374		
2010年 11月	71 (17)	3 (2)	74 (19)	12 (3)	147 (0)	159 (3)	83 (20)	150 (2)	233 (22)			
2010年 12月	82 (21)	11 (9)	93 (30)	46 (7)	248 (21)	294 (28)	128 (28)	259 (30)	387 (58)			
2011年 1月	118 (27)	4 (0)	122 (27)	39 (39)	13 (13)	52 (52)	157 (66)	17 (13)	174 (79)	131		
2010年 2月	90 (7)	2 (2)	92 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	90 (7)	2 (2)	92 (9)	122		
2010年 3月	148 (8)	2 (0)	150 (8)	25 (9)	259 (0)	284 (9)	173 (17)	261 (0)	434 (17)			
合計	1,555 (525)	275 (153)	1,830 (678)	393 (265)	2,033 (1,255)	2,426 (1,520)	1,948 (790)	2,308 (1,408)	4,256 (2,198)	2,844		

( )は内数で無料入場者数

## X 沖縄県平和祈念資料館友の会

### 1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話及び絵本の読み聞かせ
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車
- (6) その他

### 2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全工程を含む旅行行程表を添え

て下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

\*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

\*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

\*電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

### 3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

県内学校及び地域における学習支援 1回につき 5,000円

平和講話 1回につき 10,000円

ポイントガイド 1回につき 5,000円

バス乗車 1回につき 10,000円

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

### 4 平成22年度講話・ガイド活動実績件数

\*平成22年4月～平成23年2月までの活動状況

(県外)

団体	実施件数	実施人数	派遣講師
高等学校	31	5,423	38
中学校	13	933	13
小学校	0	0	0
その他	25	1,372	28
計	69	7,728	79

(県内)

高等学校	3	2,278	3
中学校	3	1,614	3
小学校	6	4,801	10
計	12	8,693	16

(県外・県内)

合計	81	16,421	95
----	----	--------	----

## 5 平成 22 年度活動内容

- (1) 2階常設展示室の解説委員
- (2) 友の会総会 平成 22 年 4 月 24 日 (土)
- (3) 学習会：フィールドワーク 平成 22 年 4 月 24 日 (土)  
[場所] ①与座岳・北面の陣地壕 ②字賀数の古井戸 (チーガー) で  
沖縄戦体験者：伊禮進順氏・新田重信氏の体験談を聴き学習
- (4) 協力事業「平和財団」：鯉のぼり掲揚式への協力
- (5) 協力事業「平和財団」：平和祈念公園愛護活動への協力
- (6) 協力事業「平和祈念堂」：平和祭への参加
- (7) 「県立資料館：JICA 連体事業」：平和祈念公園・南部戦跡の案内
- (8) 学習会：フィールドワーク 平成 23 年 2 月 12 日 (土)  
[場所] 平和祈念公園内のガイド案内のポイント学習  
[講師] 吉嶺全一氏、大城藤六氏



フィールドワーク学習会の様子



友の会総会の様子

## X I 關係條例・規則・要綱

## XI 関係条例・規則・要綱

### 1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

**第1条** 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

**第2条** 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

**第3条** 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

**第4条** 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは工作物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

**第5条** 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

**第6条** 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

**第7条** 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

**第8条** 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

**第9条** 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

**第10条** 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

**第11条** 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

**第12条** 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

**第13条** 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

**第14条** 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

**第15条** 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

**第16条** 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

**第17条** 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

**第18条** 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

**第19条** 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

**第20条** 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

**第21条** 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

**第22条** この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

### 別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

#### 備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

### 別表第2（第7条関係）

#### 1 施設使用料

区 分		単 位	使 用 料
平和祈念資料館 (分館を除く。)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,520円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

#### 2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

#### 備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合の使用料の額は、この表の区分に従い、当該区



分に定める額の100分の30に相当する額とする。

- 3 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

## 2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

**第1条** この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

**第2条** 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

**第3条** 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。

ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで

(3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

**第4条** 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

**第5条** 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

**第6条** 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）

の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

**第7条** 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式、以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

**第8条** 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

**第9条** 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

**第10条** 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。

3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。

(1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。

(2) 国又は地方公共団体が使用するとき。

(3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

**第11条** 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

(1) 天災その他使用者の責めに帰すことができない事情により使用できなかったとき。

当該使用料の全額

(2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。

当該使用料の5割。

(3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。

当該使用料の5割

2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

**第12条** 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

(1) 沖縄県が使用するとき。 免除

(2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に

関する事業を行うために使用するとき。 免除

(3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割

(4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合

2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書(第9号様式)を知事に提出しなければならない。

3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書(第10号様式)を使用者に交付するものとする。

[使用方法等の事前打合わせ]

**第13条** 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

[使用者の遵守事項]

**第14条** 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。

(2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。

(3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。

(4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

[行為の制限]

**第15条** 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為

(2) 騒音又は大声を發し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為

(3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為

(4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布

(5) 許可された場所以外の場所への立入り

(6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙

(7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為

(8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

[損傷等の届出]

**第16条** 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

[使用後の点検]

**第17条** 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

[寄贈及び寄託]

**第18条** 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書(第11号様式)又は資料寄託申請書(第12号様式)を提出しなければならない。

3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

[受領証の交付]

**第19条** 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証(第13号様式)を交付するものとする。

[寄託資料の保管]

**第20条** 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

[寄託資料の返還]

**第21条** 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

**第22条** 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

**第23条** 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

**第24条** 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

**第25条** 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。

3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

**第26条** 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第16号様式）によるものとする。

2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

(1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

(2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）

(3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

(4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）

(5) 役員の名、住所及び履歴を記載した書類

(6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

**第27条** 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

(1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況

(2) 業務に係る収支状況

(3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

**第28条** 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。

3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。

5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

- 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

**第29条** この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備 考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種別	品目	単位	使用料	
ホール	舞台器具	演台	1台	300円
		司会者卓	1台	150円
		花台	1台	100円
		金びょうぶ	1双	700円
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		カセットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	500円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円
		レーザーディスクプレーヤー	1台	500円
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円
		アッパーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	360円
		ローアホリゾンライト（150W×60灯）	1列	300円
		フットライト（60W×48灯）	1列	100円
		フォロースポットライト（1KW）	1式	100円
	その他	映写機16mm	1台	1,260円
		スライドプロジェクター	1台	520円
	会議室	音響器具	ダイナミックマイク	1本
ワイヤレスマイク			1本	450円
カセットテープレコーダー			1台	300円
CDプレーヤー			1台	400円
ビデオデッキ（VHS）			1台	400円
その他		ビデオプロジェクター	1台	1,260円
		オーバーヘッドプロジェクター	1台	520円
展示室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円
		展示ケース（小）	1台	500円

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区	分	単位	使用料
平和祈念資料館 （分館を除く）	ホール	1時間につき	2,110円
	展示室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展示室	1時間につき	100円

### 3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

**第1条** 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

**第2条** 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

**第3条** 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

**第4条** 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

**第5条** 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

**第6条** 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補則〕

**第7条** この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

#### 附則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。



## XII 資料

各種申請書・要項

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

## 沖縄県平和祈念資料館使用許可条件

- 1 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
  - (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
  - (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
  - (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
  - (4) 施設等は、善良なる管理者の注意を持って管理すること。
  
- 2 使用者又は入場者は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。
  - (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
  - (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
  - (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
  - (4) 許可を受けないで行う広告類の提出又は配布
  - (5) 許可された場所以外の場所への立入り
  - (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
  - (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
  - (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

第2号様式（第5条関係）

観覧料免除申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次のとおり 沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。)の観覧料の免除を申請します。  
八 重 山 平 和 祈 念 館

観覧の目的	
観覧者数	人
観覧の日時	平成 年 月 日 ( ) 時 分 から 時 分 まで
引率者氏名 又は 観覧者氏名	
備 考	

第3号様式（第6条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者 氏  
住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電 話 番 号

印

次のとおり使用したいので申請します。

催物の名称					
使用目的					
催物の内容					
使用施設	使 用 日 時				人 員
ホ ー ル	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分			
展 示 室	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分			
大 会 議 室	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分			
中 会 議 室	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分			
小 会 議 室	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分			
八重山平和 祈念館展示室	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 ( ) 午後・午前	時 分			
使 用 附 属 設 備					
入 場 料	無 料 有 料 ( 円)	指定席 整理券	自由席 会員券	入場予定人員	名
使用責任者 氏 名			使用責任者 の電話番号		
	施設使用料	付属設備使用料	冷房使用料	使用料減免額	計
使 用 料	円	円	円	円	円

(注) 太線の枠内は、記入しないでください。

第9号様式（第12条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者 庁

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次のとおり使用料の減額・免除を申請します。

催物の名称	
使用目的	
催物の内容	
使用期間	平成 年 月 日 ( ) 時 分から 平成 年 月 日 ( ) 時 分まで
減額・免除を申請する理由	平和事業に利用するため
備 考	

(注) この申請書は、使用許可申請書と同時に提出すること。

第11号様式（第18条関係）

資料寄贈申込書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次の資料を 沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。）  
八重山平和祈念館 に寄贈いたします。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	

寄 贈 受 諾 証

申込みのあった資料の寄贈を受諾します。  
ただし、寄贈を受けた資料は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例  
施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第18条第3項の規定により返還されません。

年 月 日

沖縄県知事

印

第12号様式（第18条関係）

資料寄託申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次の資料を 沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。） に寄託いたします。  
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
寄託期間	年 月 日から 年 月 日まで

年 月 日

## 展示資料等の撮影・複製・掲載等許可申請書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

沖縄県平和祈念資料館所蔵の展示物の撮影・複製・掲載・放映等について許可されたく申請します。  
本申請書による成果品の印刷物等への掲載および放映については、著作権法に定める一切の責任を私において負担することはもちろんのこと沖縄県平和祈念資料館に対してはいささかのご迷惑もおかけしないことを誓約致します。なお《撮影・複製・掲載・放映等》にあたっては、沖縄県平和祈念資料館のご指示を遵守致します。

所在地又は住所（郵便・電話番号を明記）

会社名（団体）

氏名又は責任者

印

記

1 目的

2 撮影・掲載資料名

3 掲載書名

4 撮影日時

5 撮影担当者

- 許可条件 (1) 上記目的以外に使用しないこと。  
(2) 掲載・放映に際しては「沖縄県平和祈念資料館」等の旨を表示すること。  
(3) 使用目的の完了後、成果品を提供すること。



## 資料貸出要項

### 1 貸出資料

- 写真パネル（沖縄戦172点 サイパン・テニアン戦29点）
- 児童・生徒の平和メッセージ図画・作文・詩入選作品パネル
- 世界人権宣言絵画パネル一式（35点）
- 沖縄戦実物資料（20種類）

### 2 貸出条件（条例施行規則第22、23条）

- (1) 貸出資料は、当館が適切と認める公共団体等の展示等で利用・活用されること。
- (2) 貸出申請の際には、身元確実な保証人がいなければならない。
- (3) 貸出申請者は、この許可証を紛失したときは、速やかに届け出なければならない。
- (4) 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、または貸与してはならない。
- (5) 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。
- (6) 貸出申請者は、貸出資料の原型に変更を加えてはならない。
- (7) 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、または著しく汚損し、もしくはき損した場合は、これを原型に復し、または相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

### 3 特記事項

- (1) 貸出資料数は、原則として20点以内とする。
- (2) 資料貸出期間は、原則として1ヶ月以内とする。
- (3) 資料貸出の申請は、原則として貸出日の2週間前までに行うこと。
- (4) 資料の貸出は無料とする。但し、貸出に係る輸送等の経費は、借受人の負担とする。
- (5) 資料の輸送は、原則として専門的技量を有する輸送業者扱いとし、借受人が手配すること。輸送業務は、梱包から開梱まで含むこと。
- (6) 借受人は貸出条件を遵守すること。条件に違反した場合には許可を取り消すことがある。その際に生じた損害については、当資料館はその責任を負わない。
- (7) 貸出資料の利用によって著作権法に係る問題が生じたときは、当資料館はその責任を負わない。
- (8) 借受人は貸出資料の利用状況について、「開催報告書」を提出すること。

### 4 提出書類

- (1) 資料貸出申請書（14号様式）
  - (2) 資料貸出明細書
  - (3) 事業企画書（実施要項等）
  - (4) 開催報告書（指定用紙）
- \*申請はあらかじめFAXで行い、後日原本を郵送して下さい。

連絡先：沖縄県平和祈念資料館  
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614-1  
Tel 098-997-3844 Fax 098-997-3947  
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

第14号様式（第22条関係）

資料貸出申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

印

保証人

住 所

氏 名

電 話 番 号

印

沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。)の資料について、貸出しを申請します。  
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保 管 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸出申請理由	

## 戦争体験証言ビデオ貸出要項

### 1 目的

編集済み戦争体験証言ビデオ（以下、「証言ビデオ」という。）を貸し出すことによって、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを知ってもらう。

### 2 利用方法

- (1) 利用者は「貸出用証言ビデオリスト」をもとに、「証言ビデオ貸出申請書」（以下、「申請書」という。）を提出、又は沖縄県電子申請システムを使用して貸出の申請を行う。
- (2) 職員は申請書を確認した後、「証言ビデオ貸出許可証」（以下、「許可証」という。）を証言ビデオと一緒に申請者に交付する。
- (3) 利用者は返却時に証言ビデオと許可証を一緒に返却する。

### 3 貸出期間

原則として2週間以内とする。

### 4 貸出本数

原則として5本以内とする。

### 5 貸出条件

- (1) 申請書の目的以外に使用しないこと。
- (2) 転貸借をしないこと。
- (3) 複製をしないこと。
- (4) 営利目的に使用しないこと。
- (5) 滅失・汚損・き損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

### 6 その他

証言ビデオの貸出は無料とする。但し、郵送又は宅配便利用の際は申請者負担とする。

沖縄県平和祈念資料館

〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

# 戦争体験証言ビデオ貸出申請書

平成 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館 殿

団体名

郵便番号

住 所

電話番号

申請者名

印

戦争体験証言ビデオの貸出しを申請します。

1 目 的

2 期 間（2週間以内を原則とする。）

平成 年 月 日（ ）～平成 年 月 日（ ）まで

3 本 数（5本以内を原則とする。）

\_\_\_\_\_本

4 ビデオNo. \_\_\_\_\_

## 貸出条件

- (1) 申請書の目的以外に使用しないこと。
- (2) 転貸借をしないこと。
- (3) 複製をしないこと。
- (4) 営利目的に使用しないこと。
- (5) 滅失・汚損・き損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

沖縄県立平和祈念資料館(旧館) 年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧										無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考	
	観 覧 料 種 別					出 身 別										計
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)	小人団体(%)	県内	県外	外国								
昭和50年度	13,784(75)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)	900(5)						18,468	248	74			
51年度	9,520(53)	4,200(23)	963(5)	3,408(19)	3,408(19)						18,091	306	59			
52年度	10,480(54)	4,264(22)	818(4)	3,932(20)	3,932(20)						22,047	307	72			
53年度	14,022(40)	4,855(14)	1,877(5)	14,097(41)	14,097(41)						34,851	220	158			
54年度	22,288(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,513(40)	21,513(40)						53,708	305	176			
55年度	20,727(39)	5,830(11)	3,109(6)	23,762(44)	23,762(44)	3,506	22,746	176			53,428	307	174			
56年度	20,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)	29,211(50)	33,671	24,797	310			60,564	304	199			
57年度	26,357(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,584(48)	34,584(48)	33,709	38,030	522			73,646	307	240			
58年度	26,359(35)	8,051(11)	4,827(6)	36,272(48)	36,272(48)	34,795	40,029	685			77,490	307	252			
59年度	27,265(34)	9,203(11)	3,932(5)	39,791(50)	39,791(50)	32,646	46,335	1,210			83,067	255	326			
60年度	29,888(31)	13,263(14)	4,701(5)	49,073(50)	49,073(50)	34,993	60,371	1,561			99,623	306	326			
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,629(5)	54,622(55)	54,622(55)	34,783	63,581	1,780			102,573	306	335			
62年度	40,566(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,976(49)	57,976(49)	33,298	83,019	2,061			123,253	306	403			
63年度	45,058(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,910(49)	63,910(49)	32,819	95,473	2,952			134,586	306	440			
平成元年度	35,325(31)	14,477(12)	7,016(6)	59,363(51)	59,363(51)	27,941	84,600	3,640			121,844	307	397			
2年度	29,514(29)	12,281(12)	5,950(6)	52,511(52)	52,511(52)	22,855	74,010	3,391			118,618	306	388			
3年度	26,687(30)	11,246(13)	5,279(6)	45,409(51)	45,409(51)	20,182	64,938	3,501			97,514	305	320			
4年度	26,500(32)	9,778(12)	5,661(7)	40,021(49)	40,021(49)	17,197	61,011	3,752			92,890	307	303			
5年度	22,667(28)	11,191(14)	5,683(7)	41,461(51)	41,461(51)	15,272	62,130	3,600			85,047	310	274			
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,563(6)	48,084(60)	48,084(60)	13,551	62,528	3,785			82,834	310	267			
7年度	70,319(45)	16,676(11)	13,837(9)	53,282(35)	53,282(35)	45,214	104,854	4,046			161,761	308	525			
8年度	59,643(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)	64,840(43)	26,540	121,886	3,506			157,525	311	507			
9年度	62,485(35)	13,247(8)	10,137(6)	91,099(55)	91,099(55)	20,128	153,889	2,951			183,908	310	593			
10年度	58,196(35)	10,647(6)	10,426(6)	89,965(53)	89,965(53)	15,211	151,195	2,828			174,179	312	558			
11年度	59,654(34)	8,367(4)	9,952(6)	97,464(56)	97,464(56)	12,128	160,724	2,585			180,247	295	611			
											2,307,039	104,723	2,411,762			

沖縄戦の真相にふれるたびに

戦争というものは

これほど残忍で、これほど汚辱にまみれたものはない  
と思うのです

このままにして体験の場では

いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは、できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし それ以上に

戦争を許さない奴力のできるのも  
私たち 人間 ではないでしょうか

戦後このかた 私たちは

あらゆる戦争を増み

平和な自由を建設せよと と思いついてきました

これが

あまりにも大きすぎた代償を払って得た

ゆずることのできない

私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館展示むすびのことば)

## 沖縄県平和祈念資料館年報 第11号

2011 (平成23) 年5月

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住 所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

E-mail [webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp](mailto:webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp)

八重山平和祈念館 (分館)

住 所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail [yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp](mailto:yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp)